

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B/ 柏本 吉章						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く） 3年以降の専門科目理解の基礎となる英語運用力と実社会で必要とされる英語の実力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用し聞き取り練習、読解練習と文脈を与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。
授業計画 Syllabus	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について 第1回 Unit 13 TOEIC スコア600レベル語彙(1) 第2回 Unit 14 TOEIC スコア600レベル語彙(2) 第3回 Unit 15 TOEIC スコア600レベル語彙(3) 第4回 Unit 16 TOEIC スコア600レベル語彙(4) 第5回 Unit 17 TOEIC スコア600レベル語彙(5) 第6回 Unit 18 TOEIC スコア600レベル語彙(6) 第7回 Unit 19 TOEIC スコア600レベル語彙(7) 第8回 Unit 20 TOEIC スコア600レベル語彙(8) 第9回 Unit 21 TOEIC スコア600レベル語彙(9) 第10回 Unit 22 TOEIC スコア600レベル語彙(10) 第11回 Unit 23 TOEIC スコア600レベル語彙(11) 第12回 Unit 24 TOEIC スコア600レベル語彙(12) 第13回 語彙の復習テスト(1) TOEIC模試：リスニング 45分 第14回 語彙の復習テスト(2) TOEIC模試：リーディング 75分 第15回 まとめと試験 第1回 よく出る文法構文問題 (1) 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 第3回 出る順 語彙(ビジネス) (1) 第4回 出る順 語彙(ビジネス) (2) 第5回 出る順 語彙(ビジネス) (3) 第6回 出る順 語彙(ビジネス) (4) 第7回 出る順 語彙(生活・一般) (1) 第8回 出る順 語彙(生活・一般) (2) 第9回 出る順 語彙(生活・一般) (3) 第10回 出る順 語彙(生活・一般) (4) 第11回 ビジネス編 (1) 第12回 ビジネス編 (2) 第13回 ビジネス編 (3) 第14回 ビジネス編 (4) 第15回 まとめと復習テスト)
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義、小テスト、ノート作成
評価方法 Evaluation	TOEIC 60%、試験20%、平常点20% (小テスト、ノート作成) ★単位認定の条件 1. TOEIC 400点以上 2. 小テストの成績が40%以上
履修上の注意 Requirements and policy	1月のTOEICは必ず受けること。授業で行なう小テストの平均が39%以下の者は、補講を受けることが必要です。補講を受けない者には単位を認定しません。2/3以上の出席が必要です。

教科書 Textbook(s)	前期と同じ。 白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』(語研) ISBN4-87615-125-3 C0082 5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1 木村哲夫、John Heissian、ヘシヤン田中ゆき子著 株式会社 マクミラン ランゲージハウス ISBN978-4-7773-6253-0 C3082
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B/勝山 吉和						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く） 3年以降の専門科目理解の基礎となる英語運用力と実社会で必要とされる英語の実力の効果的養成を内容とします。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用し聞き取り練習、読解練習と文脈を与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていくことを目標とします。
授業計画 Syllabus	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について 第1回 Unit 13 TOEIC スコア600レベル語彙(1) 第2回 Unit 14 TOEIC スコア600レベル語彙(2) 第3回 Unit 15 TOEIC スコア600レベル語彙(3) 第4回 Unit 16 TOEIC スコア600レベル語彙(4) 第5回 Unit 17 TOEIC スコア600レベル語彙(5) 第6回 Unit 18 TOEIC スコア600レベル語彙(6) 第7回 Unit 19 TOEIC スコア600レベル語彙(7) 第8回 Unit 20 TOEIC スコア600レベル語彙(8) 第9回 Unit 21 TOEIC スコア600レベル語彙(9) 第10回 Unit 22 TOEIC スコア600レベル語彙(10) 第11回 Unit 23 TOEIC スコア600レベル語彙(11) 第12回 Unit 24 TOEIC スコア600レベル語彙(12) 第13回 語彙の復習テスト(1) TOEIC模試：リスニング 45分 第14回 語彙の復習テスト(2) TOEIC模試：リーディング 75分 第15回 まとめと試験 第1回 よく出る文法構文問題 (1) 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 第3回 出る順 語彙(ビジネス) (1) 第4回 出る順 語彙(ビジネス) (2) 第5回 出る順 語彙(ビジネス) (3) 第6回 出る順 語彙(ビジネス) (4) 第7回 出る順 語彙(生活・一般) (1) 第8回 出る順 語彙(生活・一般) (2) 第9回 出る順 語彙(生活・一般) (3) 第10回 出る順 語彙(生活・一般) (4) 第11回 ビジネス編 (1) 第12回 ビジネス編 (2) 第13回 ビジネス編 (3) 第14回 ビジネス編 (4) 第15回 まとめと復習テスト
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義、小テスト、ノート作成
評価方法 Evaluation	TOEIC 60%、試験20%、平常点20% (小テスト、ノート作成) ★単位認定の条件 1. TOEIC 400点以上 2. 小テストの成績が40%以上
履修上の注意 Requirements and policy	1月のTOEICは必ず受けること。授業で行なう小テストの平均が39%以下の者は、補講を受けることが必要です。補講を受けない者には単位を認定しません。2/3以上の出席が必要です。

教科書 Textbook(s)	前期と同じ。 白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』(語研) ISBN4-87615-125-3 C0082 5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1 木村哲夫、John Heissian、ヘシヤン田中ゆき子著 株式会社 マクミラン ランゲージハウス ISBN978-4-7773-6253-0 C3082
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>前期と同じ。 まじめに勉強すれば、TOEICの400点は誰にでもクリアできる点数である。この授業の合格点は400点だけれども、600点、700点を目標に頑張ってもらいたい。1年間、不断の努力を積み、600点、700点は決して到達不可能な点数ではない。授業を積極的に活用して、大きく飛躍してもらいたい。</p>						
授業計画 Syllabus	第1回 section 1 不定詞 動名詞 分詞 (1) 第2回 section 1 不定詞 動名詞 分詞 (2) 第3回 section 1 不定詞 動名詞 分詞 (3) 第4回 section 2 接続詞 時制 態 仮定法 (1) 第5回 section 2 接続詞 時制 態 仮定法 (2) 第7回 section 2 接続詞 時制 態 仮定法 (3) 第8回 section 3 動詞 助動詞 (1) 第9回 section 3 動詞 助動詞 (2) 第10回 section 4 形容詞 副詞 比較 (1) 第11回 section 4 形容詞 副詞 比較 (2) 第12回 section 5 名詞 冠詞 代名詞 関係詞 (1) 第13回 section 5 名詞 冠詞 代名詞 関係詞 (2) 第14回 section 6 前置詞 (1) 第15回 section 6 前置詞 (2)						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	講義						
評価方法 Evaluation	TOEIC 60%、試験20%、平常点20% (小テスト、ノート作成) 単位認定の条件1. TOEIC 400点以上 2. 小テストの成績が40%以上						
履修上の注意 Requirements and policy	1月のTOEICを必ず受験すること。2/3以上の出席が必要です。						
教科書 Textbook(s)	A Shorter Course in TOEIC TEST Grammar 小池直己著 南雲堂 ISBN978-4-523-17551-3 C0082						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B/勝山 吉和						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く） 3年以降の専門科目理解の基礎となる英語運用力と実社会で必要とされる英語の実力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用し聞き取り練習、読解練習と文脈を与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。
授業計画 Syllabus	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について 第1回 Unit 13 TOEIC スコア600レベル語彙(1) 第2回 Unit 14 TOEIC スコア600レベル語彙(2) 第3回 Unit 15 TOEIC スコア600レベル語彙(3) 第4回 Unit 16 TOEIC スコア600レベル語彙(4) 第5回 Unit 17 TOEIC スコア600レベル語彙(5) 第6回 Unit 18 TOEIC スコア600レベル語彙(6) 第7回 Unit 19 TOEIC スコア600レベル語彙(7) 第8回 Unit 20 TOEIC スコア600レベル語彙(8) 第9回 Unit 21 TOEIC スコア600レベル語彙(9) 第10回 Unit 22 TOEIC スコア600レベル語彙(10) 第11回 Unit 23 TOEIC スコア600レベル語彙(11) 第12回 Unit 24 TOEIC スコア600レベル語彙(12) 第13回 語彙の復習テスト(1) TOEIC模試：リスニング 45分 第14回 語彙の復習テスト(2) TOEIC模試：リーディング 75分 第15回 まとめと試験 第1回 よく出る文法構文問題 (1) 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 第3回 出る順 語彙(ビジネス) (1) 第4回 出る順 語彙(ビジネス) (2) 第5回 出る順 語彙(ビジネス) (3) 第6回 出る順 語彙(ビジネス) (4) 第7回 出る順 語彙(生活・一般) (1) 第8回 出る順 語彙(生活・一般) (2) 第9回 出る順 語彙(生活・一般) (3) 第10回 出る順 語彙(生活・一般) (4) 第11回 ビジネス編 (1) 第12回 ビジネス編 (2) 第13回 ビジネス編 (3) 第14回 ビジネス編 (4) 第15回 まとめと復習テスト
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義、小テスト、ノート作成
評価方法 Evaluation	TOEIC 60%、試験20%、平常点20%（小テスト、ノート作成） ★単位認定の条件 1. TOEIC 400点以上 2. 小テストの成績が40%以上
履修上の注意 Requirements and policy	1月のTOEICは必ず受けること。授業で行なう小テストの平均が39%以下の者は、補講を受けることが必要です。補講を受けない者には単位を認定しません。2/3以上の出席が必要です。

教科書 Textbook(s)	前期と同じ。 白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』(語研) ISBN4-87615-125-3 C0082 5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1 木村哲夫、John Heissian、ヘシヤン田中ゆき子著 株式会社 マクミラン ランゲージハウス ISBN978-4-7773-6253-0 C3082
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B/橋本 貴						
担当教員	橋本 貴						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く） 3年以降の専門科目理解の基礎となる英語運用力と実社会で必要とされる英語の実力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用し聞き取り練習、読解練習と文脈を与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。
授業計画 Syllabus	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について 第1回 Unit 13 TOEIC スコア600レベル語彙(1) 第2回 Unit 14 TOEIC スコア600レベル語彙(2) 第3回 Unit 15 TOEIC スコア600レベル語彙(3) 第4回 Unit 16 TOEIC スコア600レベル語彙(4) 第5回 Unit 17 TOEIC スコア600レベル語彙(5) 第6回 Unit 18 TOEIC スコア600レベル語彙(6) 第7回 Unit 19 TOEIC スコア600レベル語彙(7) 第8回 Unit 20 TOEIC スコア600レベル語彙(8) 第9回 Unit 21 TOEIC スコア600レベル語彙(9) 第10回 Unit 22 TOEIC スコア600レベル語彙(10) 第11回 Unit 23 TOEIC スコア600レベル語彙(11) 第12回 Unit 24 TOEIC スコア600レベル語彙(12) 第13回 語彙の復習テスト(1) TOEIC模試：リスニング 45分 第14回 語彙の復習テスト(2) TOEIC模試：リーディング 75分 第15回 まとめと試験 第1回 よく出る文法構文問題 (1) 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 第3回 出る順 語彙(ビジネス) (1) 第4回 出る順 語彙(ビジネス) (2) 第5回 出る順 語彙(ビジネス) (3) 第6回 出る順 語彙(ビジネス) (4) 第7回 出る順 語彙(生活・一般) (1) 第8回 出る順 語彙(生活・一般) (2) 第9回 出る順 語彙(生活・一般) (3) 第10回 出る順 語彙(生活・一般) (4) 第11回 ビジネス編 (1) 第12回 ビジネス編 (2) 第13回 ビジネス編 (3) 第14回 ビジネス編 (4) 第15回 まとめと復習テスト)
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義、小テスト、ノート作成
評価方法 Evaluation	TOEIC 60%、試験20%、平常点20% (小テスト、ノート作成) ★単位認定の条件 1. TOEIC 400点以上 2. 小テストの成績が40%以上
履修上の注意 Requirements and policy	1月のTOEICは必ず受けること。授業で行なう小テストの平均が39%以下の者は、補講を受けることが必要です。補講を受けない者には単位を認定しません。2/3以上の出席が必要です。

教科書 Textbook(s)	前期と同じ。 白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』(語研) ISBN4-87615-125-3 C0082 5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1 木村哲夫、John Heissian、ヘシヤン田中ゆき子著 株式会社 マクミラン ランゲージハウス ISBN978-4-7773-6253-0 C3082
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	吉井 康博						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	TOEIC対策のテキストを使って、語彙力、文法力、読解力、聴き取りの能力等、総合的な観点から英語力を高めていく。資格試験対策に向けた授業というのは、ややもすると技術論に走るきらいもあるので、英語の本質をしっかりと見極める授業展開を心がけたい。						
授業計画 Syllabus	1. Orientation / Unit 1 Travel 2. Unit 3 Health 3. Unit 4 Eating out 4. First Test (Reading Part) 5. Unit 5 Events 6. Unit 6 Entertainment 7. Unit 7 Media 8. Second Test (Reading Part) 9. Unit 8 Office 10. Unit 9 Personnel 11. Unit 10 Finance 12. Third Test (Reading Part) 13. Unit 13 Employment 14. Unit 14 Training 15. Review and Quiz						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	(1) 教科書(1)の問題は、臨場感を味わうために授業中に解いていく。 (2) 出来るだけ多くの実践問題に当たれるよう教科書(2)から課題を課し、開講期間中にそのテストを3回行う。						
評価方法 Evaluation	I.P.テスト 80% クイズ 10% 小テスト 10%						
履修上の注意 Requirements and policy	I. 当講座の単位を取得するためには、試験準備をしたうえで、授業計画に示したテスト3回、期末試験、校内I.P.テスト、計5つの試験を受験しなければならない。 II. 校内I.P.テストで400点以上得点すること。 III. 「語学教育センター」のI.P.テスト、学外のTOEIC試験で合格最低点の400点をクリアした場合も、その結果は成績に反映される。OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提示するか、そのコピーを提出するかすること。 IV. 11回欠席すると、受講、受験資格がなくなるので注意。400点を得点したからといって、欠席はできない。						
教科書 Textbook(s)	(1) The Next Stage to the TOEIC Test 小野 博他著 金星堂 (2) TOEICテスト新・最強トリプル模試3 中村紳一郎・Susan Anderson他著The Japan Times						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/M. Benton						
担当教員	M. Benton						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	1~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>						
授業計画 Syllabus	<p>Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						
教科書 Textbook(s)	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430562-4</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430597-6</p>						
参考書 Reference(s)	None						

備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/M. Benton						
担当教員	M. Benton						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>
授業計画 Syllabus	<p>Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.
教科書 Textbook(s)	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430562-4</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430597-6</p>
参考書 Reference(s)	None

備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/M. Benton						
担当教員	M. Benton						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>
授業計画 Syllabus	<p>Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.
教科書 Textbook(s)	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430562-4</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430597-6</p>
参考書 Reference(s)	None

備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/M. Benton						
担当教員	M. Benton						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>
授業計画 Syllabus	<p>Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.
教科書 Textbook(s)	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430562-4</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430597-6</p>
参考書 Reference(s)	None

備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/J. Brooks						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	1~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>						
授業計画 Syllabus	<p>Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						
教科書 Textbook(s)	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430562-4</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430597-6</p>						
参考書 Reference(s)	None						

備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/J. Brooks						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>						
授業計画 Syllabus	<p>Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						
教科書 Textbook(s)	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430562-4</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430597-6</p>						
参考書 Reference(s)	None						

備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/J. Brooks						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	
授業計画 Syllabus	
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	
評価方法 Evaluation	
履修上の注意 Requirements and policy	
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/J. Brooks						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>						
授業計画 Syllabus	<p>Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						
教科書 Textbook(s)	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430562-4</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2007. ISBN 978-0-19-430597-6</p>						
参考書 Reference(s)	None						

備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/A. J. Silva						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	1~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>						
授業計画 Syllabus	<p>The themes or activities and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Home 2. Food 3. Fashion 4. Work 5. Travel 6. Experiences 7. Health 8. Family 9. Personality 10. Beliefs 11. Relationships 12. Education 13. Memories 14. Revision and listening test <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						
教科書 Textbook(s)	<p>First semester Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 1 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9933-2</p> <p>Second semester Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 2 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9934-9</p>						

参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/A. J. Silva						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>
授業計画 Syllabus	<p>The themes or activities and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Home 2. Food 3. Fashion 4. Work 5. Travel 6. Experiences 7. Health 8. Family 9. Personality 10. Beliefs 11. Relationships 12. Education 13. Memories 14. Revision and listening test <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.
教科書 Textbook(s)	<p>First semester Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 1 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9933-2</p> <p>Second semester Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 2 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9934-9</p>

参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/R. St. Pierre						
担当教員	R. St. Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>
授業計画 Syllabus	<p>The themes or activities and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Home 2. Food 3. Fashion 4. Work 5. Travel 6. Experiences 7. Health 8. Family 9. Personality 10. Beliefs 11. Relationships 12. Education 13. Memories 14. Revision and listening test <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.
教科書 Textbook(s)	<p>First semester Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 1 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9933-2</p> <p>Second semester Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 2 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9934-9</p>

参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Oral English/R. St. Pierre						
担当教員	R. St. Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>
授業計画 Syllabus	<p>The themes or activities and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Home 2. Food 3. Fashion 4. Work 5. Travel 6. Experiences 7. Health 8. Family 9. Personality 10. Beliefs 11. Relationships 12. Education 13. Memories 14. Revision and listening test <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.
教科書 Textbook(s)	<p>First semester Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 1 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9933-2</p> <p>Second semester Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 2 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9934-9</p>

参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Reading B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く さまざまな場面で人々の関心を読んでいる話題について書かれた平易な英文をテキストにして、すばやく正確に読む訓練をします。キーワードの見つけ方、キーセンテンスの見抜き方など、英文を効率よく、かつ的確に理解するための技術を練習します。また、TOEIC対策に役立つ語彙力の強化も目指します。
授業計画 Syllabus	第1回 Lesson 13. Venice, Italy (1) 第2回 Lesson 13. Venice, Italy (2) 第3回 Lesson 14. Honorifics 第4回 Lesson 15. Beauty in the Media 第5回 Lesson 16. Salzburg, Austria 第6回 Lesson 17. Sweatshops 第7回 Lesson 18. Aoma Oils 第8回 前半の復習、中間試験 第9回 Lesson 19. German Educacion 第10回 Lesson 20. Peter Jackson 第11回 Lesson 21. Women in New Zealand 第12回 Lesson 22. Wine in France 第13回 Lesson 23. The Pygmalion Effect 第14回 Lesson 24. Mutlinational Business 第15回 後半の復習、期末試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	リーディングと練習問題による演習
評価方法 Evaluation	出席状況 30%、中間試験および期末試験 70% 授業回数の3分の2以上出席した人が定期試験の受験資格を得るものとします。
履修上の注意 Requirements and policy	指示された部分の語彙調べや練習問題など、必ず予習した上で授業にのぞんでください。
教科書 Textbook(s)	『Reading Expert 2 (リーディングエキスパート・実践編)』、宍戸真・Bruce Allen著、成美堂、ISBN978-4-7919-3113-2
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Reading B						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	リーディング実践 英文を楽しく読む体験をする。語彙力、内容の推測力を鍛え、訳読に頼らず内容把握できることを目指す。
授業計画 Syllabus	第1回 Chapter1. Three Bodies 第2回 Chapter2. Political Planning 第3回 Chapter3. No Clues 第4回 Chapter4. Ideas and Information 第5回 Chapter5. An Implausible Theory 第6回 Chapter6. Hunted! 第7回 Chapter7. Keep Moving 第8回 Chapter8. Photos and Phone Calls 第9回 Chapter9. Searching for Darby 第10回 Chapter10. Another Body 第11回 Chapter11. Riverwalk 第12回 Chapter12. Darby Explains 第13回 Chapter13. Washington 第14回 復習1～6 第15回 復習7～13
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	リーディングと講義
評価方法 Evaluation	平常点50%、試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	必ず予習をしてくること。
教科書 Textbook(s)	The Pelican Brief (Penguin Longman Readers)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Reading B						
担当教員	橋本 貴						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	英文読解力の養成 Power Reading Aの橋本担当クラスで使用しているテキストと同じものを使用して、Power Reading Aに引き続く形で比較的容易な英文の読解をおこなう。具体的に毎週、数名の学生に課題を割り当て、授業時間内に発表し、指導を行う。また、適宜、小テスト等を行い、学生の理解力の確認を行う。そのため、講義は出席重視とする。テキストの内容は比較的有名な逸話にまつわるものであるため、英語を楽しみながら読解できるような講義をめざす。そのため、辞書をたくさん引くこととなるので、講義には必ず辞書を持参して臨むこととする。
授業計画 Syllabus	第1回 THE CURSE OF TUTANKHAMEN(ツタンカーメンの呪い)PART1 第2回 THE CURSE OF TUTANKHAMEN(ツタンカーメンの呪い)PART 2 第3回 文法確認6 基本時制と進行形、動名詞 第4回 THE MOON SAVE A MAN'S LIFE(月に救われた男)PART1 第5回 THE MOON SAVE A MAN'S LIFE(月に救われた男)PART 2 第6回 文法確認7 話法、不定詞 第7回 CARDS SAVED A KING'S LIFE(トランプで命びろい)PART1 第8回 CARDS SAVED A KING'S LIFE(トランプで命びろい)PART 2 第9回 文法確認8 分詞、5文型 第10回 THE PIRATE'S TREASURE(海賊の宝物)PART1 第11回 THE PIRATE'S TREASURE(海賊の宝物)PART 2 第12回 文法確認9 V+0+?ing 文型、間接疑問詞 第13回 THE NEW EARTHQUAKE PREDICTION(新地震予知法?)PART1 第14回 THE NEW EARTHQUAKE PREDICTION(新地震予知法?)PART2 第15回 文法確認10 現在完了、助動詞、後期試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	平常点40点、発表点20点、定期試験40点
履修上の注意 Requirements and policy	私語厳禁。出席重視。欠席はマイナス点とする。大学生として最低限のマナーを守って講義に臨むこと。

教科書 Textbook(s)	Tell Me A Story 著 Brian Powle (南雲堂)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Reading B						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>英語に再チャレンジ2010</p> <p>「英語が苦手」という人は、たいてい中学の1, 2年でつまずいてから英語が分からない、という人が多いです。疑問形の作り方、三人称現在単数、不規則動詞、現在進行形、現在完了…。一度つまずいたまま解決されない問題を抱えていると、次々と進んでいく授業にはとても追いついて行かれず、そのまま「英語が苦手な大学生」になるケースは決して珍しくありません。でもいまだに中学校の教科書をやる気にはなりませんね。大学生には大学生なりの英語のおさらい方法があるはずで。そういう考えから、この授業では英語の基本中の基本を簡単にまとめたテキストを使って、受講者の「英語に再チャレンジ」を応援することにします。英語につまずいた人には、それぞれ違ったつまずき箇所があるはずで。</p> <p>後期は文法から一歩踏み出し、「なんとなく聞き覚えはあるけどぜんぜん分からなかったこと」を中心におさらいを進めます。前期のテキストの残りがあれば残りをまず終わらせ、次のテキストに移ります。</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回 イン트로・授業説明</p> <p>第2回 前期テキストの続き1 進行形</p> <p>第3回 前期テキストの続き2 現在完了と現在完了進行形</p> <p>第4回 Drill 1-2 年月日・曜日・時刻・電話番号の言い方</p> <p>第5回 Drill 3-4 カタカナ英語と単語のつくり</p> <p>第6回 Drill 4-5 単語のつくりと諺</p> <p>第7回 Drill 6-7 国・人の名前と可算・不可算名詞</p> <p>第8回 質疑応答と中間試験</p> <p>第9回 Drill 7-8 可算・不可算名詞と前置詞</p> <p>第10回 Drill 9-10 アクセント・イントネーション・コロン・セミコロン</p> <p>第11回 Drill 11-12 Various one'sとeach, every</p> <p>第12回 Drill 13-14 the other/anotherとalmost/most</p> <p>第13回 Drill 15-16 法助動詞とyet, still, already</p> <p>第14回 Drill 17-18 also, both, either, neitherとever, never</p> <p>第15回 Drill 19-20 大きな数と引用</p> <p>第15回 質疑応答と期末試験</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	Evaluation 試験×50%+授業参加ポイント×50%
履修上の注意 Requirements and policy	私語厳禁
教科書 Textbook(s)	角岡賢一『The Workbook for Overcoming Your English Weak Points コンパクト 基礎弱点克服ドリル』 松柏社 ISBN: 4-88198-592-2
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Reading B						
担当教員	宮本 明人						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業の目的、概要 Objectives and content	Building reading fluency, vocabulary, and learning strategies.						
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Story 1 (p. 28); Recognition 1-12 (pp. 120-131) 2. Story 2 (p. 29); Focus on Vocabulary 13-17 (pp. 132-136) 3. Story 3 (p. 31); Scanning 1-5 (pp. 137-147) 4. Story 4 (p. 32); Focus on Vocabulary 6-10 (pp. 148-152) 5. Story 5 (p. 33); Inferences 1-12 (pp. 153-164) 6. Story 6 (p. 34); Focus on Vocabulary 13-17 (pp. 165-169) 7. Story 7 (p. 35); Topic 1-7 (pp. 170-177) 8. Story 8 (p. 37); Focus on Vocabulary 8-12 (pp. 178-181) 9. Story 9 (p. 38); Paragraphs 1-11 (pp. 182-195) 10. Story 10 (p. 40); Focus on Vocabulary 12-16 (pp. 196-200) 11. Story 11 (p. 41); Thinking in English: Introduction (pp. 202-203) 12. Story 11 (p. 41); Level 1 Exercises 1-8 (pp. 204-211) 13. Story 12 (p. 44); Level 2 Exercises 1-8 (pp. 212-219) 14. Story 12 (p. 44); Level 3 Exercises 1-8 (pp. 220-228) 15. Books (pp. 48-58); final exam 						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	<ol style="list-style-type: none"> 1. Silent reading, reading aloud (ondoku), and comprehension check. 2. Working out the exercises. 						
評価方法 Evaluation	Quizzes (50%), Final exam (50%)						
履修上の注意 Requirements and policy	<ol style="list-style-type: none"> 1. A minimum 2/3 attendance required. 2. Pre-study each unit. Use your dictionary at home. 3. Speak as much English in class as possible. We speak English only. 4. No chatting, sleeping, telephoning, or making your face up during class. 						
教科書 Textbook(s)	Linda Jeffries and Beatrice S. Mikulecky: "Basic Reading Power 1," 3rd edition (Pearson Longman, 2009), ISBN 0-13-814389-7 / 978-0-13-814389-3						
参考書 Reference(s)	Oxford Advanced Learner's Dictionary, 7th edition (Oxford University Press, 2005) Longman Dictionary of Contemporary English, 4th edition with Writing Assistant (Kiriara Shoten, 2005)						
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/J. Angel						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/J. Angel						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/J. Angel						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/J. Angel						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/D. Boyle						
担当教員	D. Boyle						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/D. Boyle						
担当教員	D. Boyle						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/D. Boyle						
担当教員	D. Boyle						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/D. Boyle						
担当教員	D. Boyle						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/D. Chatham						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/R. K. Mason						
担当教員	R. K. Mason						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/R. St. Pierre						
担当教員	R. St. Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
参照URL Reference URL(s)	None						
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.						

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking B/R. St. Pierre						
担当教員	R. St. Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.
授業計画 Syllabus	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b: Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	None
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.
履修上の注意 Requirements and policy	Students must fulfill all requirements placed on them by their individual teachers. Strict attendance also is a requirement for passing this course. Students' grades may be lowered due to excessive absences. Absences due to unavoidable circumstances should be reported to the individual teachers.

教科書 Textbook(s)	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)
参考書 Reference(s)	None
備考 Remarks	As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	学校文法の再確認
授業計画 Syllabus	<p>第1回 Units 1-4 so do I, verb+ing, present simple and continuous, prepositions of time 第2回 Units 5-8 able to, either/neither, infinitives, reply questions 第3回 Units 9-10 past simple and continuous, must/have to, 小テスト 第4回 Grammar Games</p> <p>第5回 Units 11-14 linking words, permission and requests, present perfect, indirect questions 第6回 Units 15-18 prepositions of place, predictions, indirect questions, relative clauses 第7回 Units 19-20 so that, participle adjectives, 小テスト 第8回 Grammar Games</p> <p>第9回 Units 21-24 adjectives/adverbs, so/such, possessives, comparatives 第10回 Units 25-28 adjectives + preposition, may/might, conditionals, reflexive pronouns 第11回 Units 29-30 deduction, unless, 小テスト 第12回 Grammar Games</p> <p>第13回 Units 31-34 passive, until/before, passive (future), look like 第14回 Units 35-38 present perfect continuous, countable nouns, reported speech</p> <p>第15回 Units 39-40 any/every, reported questions, 小テスト 試験</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	実習
評価方法 Evaluation	試験(35点)、小テスト(40点)、出席点等(10点) レベル別ワークシート(1セットごとに3点~最大15点)
履修上の注意 Requirements and policy	単位の認定には、2/3以上の出席が不可欠です。必ず予習をして授業に臨んでください。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	マーフィーのケンブリッジ英文法(中級編), R. Murphy, W. R. Smalzer, ISBN 978-4-902290-05-9 (この本を買うことを強く勧めます。英語を勉強している間いつでも役に立ちます。)
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	学校文法の再確認
授業計画 Syllabus	第1回 to不定詞(1) 第2回 to不定詞(2) 第3回 動名詞 第4回 動名詞と不定詞 第5回 enough to do構文 第6回 too ... to do構文 第7回 be to do構文 第8回 主語の特徴を述べる文 第9回 for主語to do構文(1) 第10回 for主語to do構文(2) 第11回 分詞 第12回 心理動詞の分詞形 第13回 分詞の用法 (go doing, go shoppingなど) 第14回 have+目的語+過去分詞 第15回 使役構文
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習
評価方法 Evaluation	試験(30%)、小テスト、平常点等(70%)をもとに最終評価を算出します。
履修上の注意 Requirements and policy	単位の認定には、2/3以上の出席が不可欠です。必ず予習をして授業に臨んでください。
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	英文法の基礎固め(その2) 英語英米文学科の全員が受講するPractical English Grammarは英語の4技能の強化という目的のための土台となる科目です。実践的な英語力の養成には、英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことが重要です。専門科目の履修を、よりスムーズに、また効果的に進めることができるように、英文法の基礎固めをします。
授業計画 Syllabus	第1回 文型と動詞の文法 第2回 Unit 12 過去時制: Business Profile 第3回 Unit 13 未来: Schedules 第4回 Unit 14 現在完了時制・過去完了時制: Computers and the Internet 第5回 Unit 15 能動態と受動態: Industry and Manufacturing 第6回 Unit 16 接続詞(2)—従位接続詞: Making Arguments 第7回 Unit 17 否定文: Business Culture 第8回 Unit 18 疑問文・疑問詞・付加疑問文: Recruitment 第9回 前半のまとめと復習、中間試験 第10回 Unit 19 関係代名詞・関係副詞: Entertaining and Socializing 第11回 Unit 20 後置修飾: Education 第12回 Unit 21 仮定法: Banking 第13回 Unit 22 話法: Health 第14回 動詞の文法の整理 第15回 後半のまとめと復習、期末試験
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義と問題演習
評価方法 Evaluation	出席状況 30%、中間試験および期末試験 70% 授業回数の3分の2以上出席した人が定期試験の受験資格を得るものとします。
履修上の注意 Requirements and policy	指示された練習問題など、必ず予習した上で授業にのぞむこと。
教科書 Textbook(s)	『English Grip—Essential English Skills for College Students』、本多吉彦他著、金星堂、ISBN978-4-7647-3856-0
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Practical English Grammar Aと同じ。
授業計画 Syllabus	<p>第一回 後期の履修指導、オリエンテーション 第二回 『ポップスで学ぶ総合英語』7章、文法 第12章 第三回 7章、文法 第13章 第四回 8章、文法 第14章 第五回 8章、文法 第15章 第六回 9章、文法 第16章 第七回 9章、文法 第17章 第八回 10章、文法 第18章 第九回 10章、文法 第19章 第十回 11章、文法 第20章 第十一回 11章、文法 第21章 第十二回 12章、文法 第22章 第十三回 12章 第十五回 まとめと復習</p> <p>授業方法は講義と演習です。前期から使用している教科書を引き続き毎回使います。 第一回目の授業で後期の授業のオリエンテーションをしますので、必ず出席して下さい。 後期は前期よりスピードを上げて授業をしますので、しっかり予習・復習して臨みましょう。平常点重視です。</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義と演習による。
評価方法 Evaluation	試験：平常点＝1：1
履修上の注意 Requirements and policy	出席を重視する。必ず予習した上で授業に臨むこと。
教科書 Textbook(s)	『基礎文法からはじめる大学英語学習』石井隆之ほか著（松柏社） 978-4-88198-629-5
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	学校文法の復習と再確認 Practical English Grammar Aと同じ。
授業計画 Syllabus	第1回 Unit 2の復習 第2回 Unit 3 Chapter 7不定詞の基本用法 第3回 Chapter8不定詞の注意すべき用法 第4回 Chapter9不定詞の注意すべき構文 第5回 Chapter10不定詞と動名詞 第6回 まとめと復習 第7回小テストと解説 第8回 Unit 4 Chapter11現在分詞と過去分詞 第9回 Chapter12分詞の色々な構文 第10回 Chapter 13分詞構文 第11回 まとめと復習 第12回 小テストと解説 第13回 Unit 6 Chapter16能動態と受動態 第14回 Chapter17関係詞 第15回 まとめと復習テスト
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義と問題演習
評価方法 Evaluation	平常点50%、試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	出席を重視する。必ず予習した上で授業に臨むこと。
教科書 Textbook(s)	Practical English Grammar (神戸松蔭女子学院大学・英語英米文学科作成) 著 服部幸正、柏本吉章、濱本秀樹、勝山吉和 (神戸松蔭女子学院大学)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	学校文法の復習と再確認 Practical English Grammar Aと同じ。
授業計画 Syllabus	第1回 イントロ・授業説明 第2回 Lesson 13 分詞構文 第3回 Lesson 14 第1・2・3文型 第4回 Lesson 15 第4・5文型 第5回 Lesson 16 態 第6回 Lesson 17 関係代名詞の用法 第7回 まとめ これまでの復習 第8回 質疑応答と中間試験 第9回 Lesson 18 関係代名詞の用法2 第10回 Lesson 19 関係副詞1 第11回 Lesson 20 関係副詞2 第12回 Lesson 21 比較表限1 第13回 Lesson 22 比較表限2 第14回 まとめ これまでの復習 第15回 質疑応答と期末試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	試験と平常点
履修上の注意 Requirements and policy	出席を重視する。必ず予習した上で授業に臨むこと。
教科書 Textbook(s)	Practical English Grammar (神戸松蔭女子学院大学・英語英米文学科作成) 著 服部幸正、柏本吉章、濱本秀樹、勝山吉和 (神戸松蔭女子学院大学)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	吉井 康博						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜5	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	私達にとって第二言語である英語は、文法、つまりことばの約束事を知らなければ、意味を理解することも出来ないし、正しく意思を伝えることも出来ない。英語という言語に特有の決まり事をしっかり認識してもらいたい。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / Perfect and Perfect Progressive Tenses (後半) 2. 復習テスト / Future Time (後半) 3. 復習テスト / Modals, Part II (後半) 4. 復習テスト / The Passive (後半) 5. 復習テスト / Noun Clauses (後半) 6. 復習テスト / Adjective Clauses (後半) 7. 復習テスト / Gerunds and Infinitives, Part I (後半) 8. 復習テスト / Gerunds and Infinitives, Part II (後半) 9. 復習テスト / Coordinating Conjunctions (後半) 10. 復習テスト / Adverb Clauses (後半) 11. 復習テスト / Reduction of Adverb Clauses to Adverbial Phrases (後半) 12. 復習テスト / Connectives that Express Contrast and Condition 13. 復習テスト / Conditional Sentences and Wishes (後半) 14. 総復習と確認テスト 15. 質疑応答
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	一つ一つの項目を演習問題を通し多面的に見ることで、語(句)の形や文の型が担っている意味を習得する。文法の知識は、読み書きには応用できるが、会話には反映されにくいので、口頭練習も取り入れたい。
評価方法 Evaluation	小テスト：30点 / 授業への積極性：10点 / 期末試験：60点
履修上の注意 Requirements and policy	小テスト(評価配点30%)を毎回課しますから、しっかりと復習をし、出席することが大切。
教科書 Textbook(s)	Understanding and Using English Grammar WORKBOOK Betty S. Azar他 PEARSON EDUCATION / Longman
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Reading for Developing Beliefs B						
担当教員	市橋 孝道						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	前期開講科目「Reading for Developing Beliefs A」に引き続き、日本の社会問題についての英語の読み物を通して、自身の意見や考え方を深め、それらについての英語表現を学んでいくのが本講の目標である。後期は、教科書に加え、英字新聞の講読も少しずつ採り入れていきたい。
授業計画 Syllabus	<p>第一回：講義を始めるにあたって（後期）+英語雑誌の効用（様々な英語情報誌の活用について）</p> <p>第二回：Chapter 7 Informed Consent（本文の精読）</p> <p>第三回：Chapter 7 Informed Consent（単語テスト+文法・語彙の復習+関連テーマの新聞記事講読）</p> <p>第四回：Chapter 8 Dried Carrots（本文の精読）</p> <p>第五回：Chapter 8 Dried Carrots（単語テスト+文法・語彙の復習+関連テーマの新聞記事講読）</p> <p>第六回：Chapter 9 “Can the Japanese Language Survive?”（本文の精読）</p> <p>第七回：Chapter 9 “Can the Japanese Language Survive?”（単語テスト+文法・語彙の復習+新聞記事講読）</p> <p>第八回：Chapter 7～9までの復習（中間テスト）</p> <p>第九回：Chapter 10 Where There’s Smoke, There’s Fire（本文の精読）</p> <p>第十回：Chapter 10 Where There’s Smoke, There’s Fire（単語テスト+文法・語彙の復習+新聞記事講読）</p> <p>第十一回：Chapter 11 Challenged in Japan（本文の精読）</p> <p>第十二回：Chapter 11 Challenged in Japan（単語テスト+文法・語彙の復習+新聞記事講読）</p> <p>第十三回：Chapter 12 “One People, One Culture”（本文の精読）</p> <p>第十四回：Chapter 12 “One People, One Culture”（単語テスト+文法・語彙の復習+新聞記事講読）</p> <p>第十五回：Chapter 10～12までの復習 小プレゼン大会（英字新聞記事の紹介）</p> <p><期末テスト></p> <p>* chapterの割り当ては担当者の案です。初回の講義において簡単な概説の後、皆さんにアンケートをとって、7～12までの中から学びたいchapterを先に学んでいきます。</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	基本的に講読の演習形式です。全体での音読練習や、予習してきてもらった訳語や教科書の解答などを発表してもらったり、意見の交換などを行ったりしていただきます。また2回に一度は語彙増強のための小テストを実施します。
評価方法 Evaluation	期末テスト60%、中間テスト20%、小テスト10%、平常点10%
履修上の注意 Requirements and policy	必ず予習をしてきてください。訳読や回答がすぐにできない場合は、予習をしていないものと判断し、減点の対象とします。また、教室での最低限のマナーが守れない場合（携帯電話によるメール、私語、化粧など）は、他の受講者の迷惑となるため、厳重注意の上、減点の対象とします。
教科書 Textbook(s)	『Japan Faces the 21st Century（変わりゆく日本—現代社会の試練）』 初版 編著者：浅間正通/M. G. Sheftall/Michael Boyce, 英宝社, ISBN 978-4-269-17005-6 C1082
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Reading for Developing Beliefs B						
担当教員	岩井 麻紀						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	語彙力と英文読解力を高めることを目指します。また、自分の意見をまとめ伝える練習もします。
授業計画 Syllabus	第1回: Psychics: What do they know that we don't? 第2回: Psychics: What do they know that we don't? 第3回: Beauty: Mirror, mirror, on the wall... 第4回: Beauty: Mirror, mirror, on the wall... 第5回: Lying: Waht's THAT on your resume? 第6回: Lying: Waht's THAT on your resume? 第7回: Intelligence: How iportant is it? 第8回: Intelligence: How iportant is it? 第9回: Graffiti: You call this ART? 第10回: Graffiti: You call this ART? 第11回: Child Labor: Who made your sneakers? 第12回: Child Labor: Who made your sneakers? 第13回: Infidelity: Our cheating hearts 第14回: Infidelity: Our cheating hearts 第15回: Review & Test
参照URL Referance URL (s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	テスト60% 平常点40% (出席・授業参加20%、小テスト20%)
履修上の注意 Requirements and policy	しっかり予習して授業に臨んでください。2/3以上の出席が単位認定には必要です。
教科書 Textbook (s)	Hot Topics 2 Cheryl Pavlik著 センゲージ
参考書 Reference (s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Reading for Developing Beliefs B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	英文を正確に読む力、的確に理解する力を養成する さまざまな内容の英文を前にして、構文、文法、単語、イディオムなど、適切な知識を駆使して効率的にその内容を把握する技術が身につくように、徹底した英文読解訓練をします。最新のビジネスに関連する話題をとりあげたテキストを使い、TOEIC対策等に生かせる語彙力の強化を目指します。
授業計画 Syllabus	第1回 Chapter 7. Casio Computer: Shockingly Revolutionary ① 第2回 Chapter 7. Casio Computer: Shockingly Revolutionary ② 第3回 Chapter 7. Casio Computer: Shockingly Revolutionary ③ 第4回 Chapter 9. Kao: More than Just a Pretty Face ① 第5回 Chapter 9. Kao: More than Just a Pretty Face ② 第6回 Chapter 9. Kao: More than Just a Pretty Face ③ 第7回 Chapter 10. Kyocera: Business, the Kyocera Way ① 第8回 前半の復習、中間試験 第9回 Chapter 10. Kyocera: Business, the Kyocera Way ② 第10回 Chapter 11. Sanrio: Big Smile from Small Gifts ① 第11回 Chapter 11. Sanrio: Big Smile from Small Gifts ② 第12回 Chapter 12. MOt FOOD SERVICE: The MOST Delicious Burger in Town ① 第13回 Chapter 12. MOS FOOD SERVICE: The MOST Delicious Burger in Town ② 第14回 Chapter 12. MOS FOOD SERVICE: The MOST Delicious Burger in Town ③ 第15回 後半の復習、期末試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	英文講読と練習問題による演習
評価方法 Evaluation	出席状況 30%、中間試験および期末試験 70% 授業回数の3分の2以上出席した人が定期試験の受験資格を得るものとします。
履修上の注意 Requirements and policy	指示された部分の講読や練習問題など、必ず予習した上で授業にのぞんでください。
教科書 Textbook(s)	『Front-runners in the 21st Century: 12 Outstanding Companies (挑戦する企業—ものづくりへの情熱とビジネス成功の秘訣)』、Brenda Hayashi他著、松柏社、ISBN4-88198-576-0
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Reading for Developing Beliefs B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Reading for Developing Beliefs Aと同じ 英語が正確に読めるようになるためには、しっかりとした語彙力、熟語力、文法力が必要です。この授業の目的は、上記の3つの基礎力の増強をもとに、英語の読解力を養成することです。
授業計画 Syllabus	第1回 Unit 8 進行形 (1) 第2回 Unit 8 進行形 (2) 第3回 Unit 9 完了形 (1) 第4回 Unit 9 完了形 (2) 第5回 Unit 10 助動詞 (1) 第6回 Unit 10 助動詞 (2) 第7回 Unit 11 受動態 (1) 第8回 Unit 11 受動態 (2) 第9回 Unit 12 不定詞 (1) 第10回 Unit 12 不定詞 (2) 第11回 Unit 13 動名詞 (1) 第12回 Unit 13 動名詞 (2) 第13回 Unit 14 分詞 (1) 第14回 Unit 14 分詞 (2) 第15回 まとめと試験
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	テキスト購読
評価方法 Evaluation	試験(60%)、小テスト(20%)、出席(20%)で評価します。
履修上の注意 Requirements and policy	単位の認定には、2/3以上の出席が不可欠です。必ず予習をして授業に臨んでください。遅刻は欠席とみなします。
教科書 Textbook(s)	前期と同じ English Upgrade 小中秀彦、Bill Benfield著 成美堂 ISBN978-4-7919-3126-2
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Reading for Developing Beliefs B						
担当教員	吉井 康博						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	辞書で調べたことばの意味を無秩序につなぎ合わせて、書かれていることを憶測する習慣を断ち切り、文構造と文脈を考えて正確に英文を読解する能力を身につけることを目指す。重要な現代史の事実を扱った英文を読み、本文に触れることによって教養も高める。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / Nazis tried and hanged in Nuremberg 2. Aum Shinrikyo poisons Tokyo subways 3. Adolph Hitler seizes power in Germany 4. Vocabulary Test & Japanese-English Translation Exercise 5. Nixon resigns over Watergate scandal 6. Berlin Wall comes tumbling down 7. Tanks put down riots in Tienanmen Square 8. Vocabulary Test & Japanese-English Translation Exercise 9. Eagle lands on moon 10. Sound comes to motion pictures 11. Wall Street stock market plunges 12. Vocabulary Test & Japanese-English Translation Exercise 13. Japan as Number One 14. 総復習と確認テスト 15. 質疑応答
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	(1) 文の形がどのような意味を作るのかを考える。(2) thatやgivenなどの基本的なことばでも場合によっては意外な文法機能を持っていることがあり、そうしたことばの働きを発見する。(3) observeやappreciationなどのことばが文脈でどのような意味になるのかを考える。(4) 本文の内容についてまとめてもらう。
評価方法 Evaluation	小テスト：30点 / 授業への積極性：10点 / 期末試験：60点
履修上の注意 Requirements and policy	必ず予習をしてから授業に臨むこと。
教科書 Textbook(s)	LOOKING BACKWARD — Major Events of the 20th Century Jim Knudsen著 南雲堂
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Speaking for Expressing Beliefs B/J. Brooks						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	The speaking course focuses on the ability to use English to articulate and defend one's own beliefs orally. (社会的なトピックについて英語で意見を述べられるように訓練する。)
授業計画 Syllabus	第1回:Introduction 第2回:Unit 9 Mind and body 第3回:Unit 10 Spending money 第4回:Units 9+10 practice 第5回:Unit 11 The news 第6回:Unit 12 Relationships 第7回:Units 11+12 practice 第8回:Units 9-12 expansion and test 第9回:Unit 13 Adventure 第10回:Unit 14 Self-improvement 第11回:Units 13+14 practice 第12回:Unit 15 Travel and tourism 第13回:Unit 16 Employment 第14回:Units 15+16 practice 第15回:Units 13-16 expansion and test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	Evaluation will be based on participation, as well as quizzes and the final exam. Attendance and participation and midterm quizzes: 80%, Final exam 20% (授業参加点、クイズ、定期試験で総合的に評価する)
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance is required. Students must come on time, and are required to come to class prepared and with the textbook. Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fails the course. (出席を極めて重視する。遅刻、早退も厳禁。1/3以上欠席で単位を認定しない。)
教科書 Textbook(s)	Let's Talk 3, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69287-8
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Speaking for Expressing Beliefs B						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	3~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course aims to develop the speaking skills necessary to express and defend one's beliefs in English.
授業計画 Syllabus	第1回 : Introduction 第2回 : Unit 9: past experiences 第3回 : Unit 10: features & functions of gadgets 第4回 : Units 9+10 practice & quiz 第5回 : Unit 11: environmental problems & solutions 第6回 : Unit 12: current events 第7回 : Units 11+12: practice & quiz 第8回 : Units 9-12: expansion and test 第9回 : Unit 13: safety 第10回 : Unit 14: art and artists 第11回 : Units 13+14 practice & quiz 第12回 : Unit 15: historical places & events 第13回 : Unit 16: comedy and humour 第14回 : Units 15+16 practice & quiz 第15回 : Units 13-16 expansion and test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical
評価方法 Evaluation	Final grades will be based on participation, quizzes and tests. Oral evaluations 70% Written evaluations 20% Participation 10%
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance and active participation are required. Students absent for more than 1/3 of the class sessions will fail the course.
教科書 Textbook(s)	Let's Talk 2 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 9780521692847
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Speaking for Expressing Beliefs B/H. Murray						
担当教員	H. Murray						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	The speaking course focuses on the ability to use English to articulate and defend one's own beliefs orally. (社会的なトピックについて英語で意見を述べられるように訓練する。)
授業計画 Syllabus	第1回:Introduction 第2回:Unit 9 Mind and body 第3回:Unit 10 Spending money 第4回:Units 9+10 practice 第5回:Unit 11 The news 第6回:Unit 12 Relationships 第7回:Units 11+12 practice 第8回:Units 9-12 expansion and test 第9回:Unit 13 Adventure 第10回:Unit 14 Self-improvement 第11回:Units 13+14 practice 第12回:Unit 15 Travel and tourism 第13回:Unit 16 Employment 第14回:Units 15+16 practice 第15回:Units 13-16 expansion and test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	Evaluation will be based on participation, as well as quizzes and the final exam. Attendance and participation and midterm quizzes: 80%, Final exam 20% (授業参加点、クイズ、定期試験で総合的に評価する)
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance is required. Students must come on time, and are required to come to class prepared and with the textbook. Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fails the course. (出席を極めて重視する。遅刻、早退も厳禁。1/3以上欠席で単位を認定しない。)
教科書 Textbook(s)	Let's Talk 3, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Speaking for Expressing Beliefs B/A. J. Silva						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	The speaking course focuses on the ability to use English to articulate and defend one's own beliefs orally. (社会的なトピックについて英語で意見を述べられるように訓練する。)
授業計画 Syllabus	第1回:Introduction 第2回:Unit 9 Vacation time 第3回:Unit 10 Inventions and gadgets 第4回:Units 9+10 practice 第5回:Unit 11 The environment 第6回:Unit 12 News and current events 第7回:Units 11+12 practice 第8回:Units 9-12 expansion and test 第9回:Unit 13 City life 第10回:Unit 14 Entertainment and art 第11回:Units 13+14 practice 第12回:Unit 15 The past 第13回:Unit 16 Comedy and humor 第14回:Units 15+16 practice 第15回:Units 13-16 expansion and test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	Evaluation will be based on participation, as well as quizzes and the final exam. Attendance and participation and midterm quizzes: 80%, Final exam 20% (授業参加点、クイズ、定期試験で総合的に評価する)
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance is required. Students must come on time, and are required to come to class prepared and with the textbook. Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fails the course. (出席を極めて重視する。遅刻、早退も厳禁。1/3以上欠席で単位を認定しない。)
教科書 Textbook(s)	Let's Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Speaking for Expressing Beliefs B/A. J. Silva						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	The speaking course focuses on the ability to use English to articulate and defend one's own beliefs orally. (社会的なトピックについて英語で意見を述べられるように訓練する。)
授業計画 Syllabus	第1回:Introduction 第2回:Unit 9 Vacation time 第3回:Unit 10 Inventions and gadgets 第4回:Units 9+10 practice 第5回:Unit 11 The environment 第6回:Unit 12 News and current events 第7回:Units 11+12 practice 第8回:Units 9-12 expansion and test 第9回:Unit 13 City life 第10回:Unit 14 Entertainment and art 第11回:Units 13+14 practice 第12回:Unit 15 The past 第13回:Unit 16 Comedy and humor 第14回:Units 15+16 practice 第15回:Units 13-16 expansion and test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	Evaluation will be based on participation, as well as quizzes and the final exam. Attendance and participation and midterm quizzes: 80%, Final exam 20% (授業参加点、クイズ、定期試験で総合的に評価する)
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance is required. Students must come on time, and are required to come to class prepared and with the textbook. Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fail the course. (出席を極めて重視する。遅刻、早退も厳禁。1/3以上欠席で単位を認定しない。)
教科書 Textbook(s)	Let's Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69287-8
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Speaking for Expressing Beliefs B/P. Spaelti						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	The speaking course focuses on the ability to use English to articulate and defend one's own beliefs orally. (社会的なトピックについて英語で意見を述べられるように訓練する。)
授業計画 Syllabus	第1回:Introduction 第2回:Unit 9 Vacation time 第3回:Unit 10 Inventions and gadgets 第4回:Units 9+10 practice 第5回:Unit 11 The environment 第6回:Unit 12 News and current events 第7回:Units 11+12 practice 第8回:Units 9-12 expansion and test 第9回:Unit 13 City life 第10回:Unit 14 Entertainment and art 第11回:Units 13+14 practice 第12回:Unit 15 The past 第13回:Unit 16 Comedy and humor 第14回:Units 15+16 practice 第15回:Units 13-16 expansion and test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	Evaluation will be based on participation, as well as quizzes and the final exam. Attendance and participation and midterm quizzes: 80%, Final exam 20% (授業参加点、クイズ、定期試験で総合的に評価する)
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance is required. Students must come on time, and are required to come to class prepared and with the textbook. Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fails the course. (出席を極めて重視する。遅刻、早退も厳禁。1/3以上欠席で単位を認定しない。)
教科書 Textbook(s)	Let's Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Speaking for Expressing Beliefs B/P. Spaelti						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	The speaking course focuses on the ability to use English to articulate and defend one's own beliefs orally. (社会的なトピックについて英語で意見を述べられるように訓練する。)
授業計画 Syllabus	第1回:Introduction 第2回:Unit 9 Vacation time 第3回:Unit 10 Inventions and gadgets 第4回:Units 9+10 practice 第5回:Unit 11 The environment 第6回:Unit 12 News and current events 第7回:Units 11+12 practice 第8回:Units 9-12 expansion and test 第9回:Unit 13 City life 第10回:Unit 14 Entertainment and art 第11回:Units 13+14 practice 第12回:Unit 15 The past 第13回:Unit 16 Comedy and humor 第14回:Units 15+16 practice 第15回:Units 13-16 expansion and test 第13回:Unit 16 Employment 第14回:Units 15+16 practice 第15回:Units 13-16 expansion and test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	Evaluation will be based on participation, as well as quizzes and the final exam. Attendance and participation and midterm quizzes: 80%, Final exam 20% (授業参加点、クイズ、定期試験で総合的に評価する)
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance is required. Students must come on time, and are required to come to class prepared and with the textbook. Students with absences of more than 1/3 of the class sessions automatically fail the course. (出席を極めて重視する。遅刻、早退も厳禁。1/3以上欠席で単位を認定しない。)
教科書 Textbook(s)	Let's Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学B／TOEFL & Study Abroad B						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1～4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>TOEFL PBTと留学の準備（前期のAから継続）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. このコースでは英米文学科2年次の中期留学プログラムに必要なTOEFLスコアに到達後、それを超える点数を取ることを目指します。 2. 教室ではTOEFLのリスニング、ストラクチャー、リーディングに焦点を絞って練習します。英語圏の国々の日常生活、大学での勉強、ホームステイに関するアドバイスも与えられます。 3. 毎週宿題を課します。 4. 学内TOEFL TEST (PBT) を学期末に受験することができます。（別途受験料3000円）
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening 7, Reading TRE1-4 (One/Two) 2. Structure 14/15, Study Abroad Talk 1 3. Listening 8, Reading 5 (One/Two) 4. Structure 17/18, Study Abroad Talk 2 5. Listening 9, Reading TRE1-5 (One/Two) 6. Structure 19/20, Study Abroad Talk 3 7. Listening 10, Reading TRE1-5 (Three) 8. Course Test 1 9. Listening 11, Reading 6 (One/Two) 10. Complete Test Two 11. Listening 12, Structure 23 12. Structure 24/25, Reading 6 (Three) 13. Reading (TRE1-6), Structure (TRE1-25) 14. Post-tests 15. Course Test 2
参照URL Reference URL (s)	
授業方法 Class type	TOEFL-PBT試験問題の練習 と 海外留学についての講義
評価方法 Evaluation	宿題 (20%) ・ 模擬試験A (40%) ・ 模擬試験B (40%) に基づきます。
履修上の注意 Requirements and policy	少なくとも3分の2以上の出席が必要で、遅刻は厳禁です。
教科書 Textbook (s)	<p>Philips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (without Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4719-4</p>
参考書 Reference (s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学B/TOEFL & Study Abroad B						
担当教員	内田 ひろ子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	TOEFL PBTと留学の準備（前期のAから継続） 1. 英米文学科2年次の中期留学プログラムに必要なTOEFLスコアに到達後、それを超える点数を取ることを目指します。 2. 教室でTOEFLのストラクチャー、リーディングに焦点を絞って練習します。リスニングはHWとなります。 3. 宿題は毎週課されます。 4. 学内TOEFL TEST (PBT)を学期末に受験することができます。（別途受験料3000円）
授業計画 Syllabus	No.1 Reading 5 (p.182-188) No.2 Structure 11-13 (p.95-101) No.3 Reading 6-1 (p.189-192) No.4 Reading 6-2 (p.193-197) No.5 Structure 14-18 (p.102-113) No.6 調整日 Structure 14-18 解説 No.7 Reading Post Test (p.198-207) No.8 Course Test A (Listening 10, Structure 30, Reading 30) No.9 Structure 19-20 (p.114-118) No.10 Structure 21-23 (p.119-125) No.11 Structure 24-25 (p.126-132) No.12 Complete Test 1 (p.251-267) No.13 Complete Test 2 (p.275-291) No.14 Complete Test 3 (p.299-316) No.15 Course Test B (Listening 10, Structure 30, Reading 30)
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	評価は出席、宿題、小テスト、模擬試験に基づきます。宿題は期限までに提出すること。
履修上の注意 Requirements and policy	少なくとも3分の2以上の出席が必要で、遅刻は厳禁です。
教科書 Textbook(s)	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test 著 Deborah Phillips (Pearson Longman)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学B/TOEFL & Study Abroad B						
担当教員	崎野 悦代						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	TOEFL ITPと留学の準備
授業計画 Syllabus	<p>Nopp. HWHWの提出期限 19/24Reading 5182-88Listening 7-9 (32-37) 210/ 1Structure 11-1395-101 310/ 8Reading 6-1189-192Listening10-12(40-45)Listening 7-9 410/15Reading 6-2193-197 510/22Structure 14-18102-113Listening10-12 610/29調整日Reading PostTest(198-207) 11/ 5大学祭準備のため午後休講 711/12ReadingPostTest198-207 811/19Course Test A (Listening 10, Structure 30, Reading 30) 911/26Structure 19-20114-118 1012/ 3Structure 21-23119-125 1112/10Structure 24-25126-132 1212/17Complete Test1251-267 Winter VacationComplete Test 2-3 131/ 7Complete Test2275-291Complete Test2 141/14Complete Test3299-316Complete Test3 151/21Course Test B (Listening 10, Structure 30, Reading 30)</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	<ol style="list-style-type: none"> このコースでは英米文学科2年次の中期留学プログラムに必要なTOEFLスコアに到達後、それを超える点数を取ることを目指します。 教室ではTOEFLのストラクチャー、リーディングに焦点を絞って練習します。 宿題は毎週課されます。次の授業時間中に回収します。
評価方法 Evaluation	出席、提出物、授業態度、授業貢献度、模擬試験などを基に総合的に評価
履修上の注意 Requirements and policy	少なくとも3分の2以上の出席が必要で、遅刻厳禁
教科書 Textbook(s)	Deborah Phillips著 Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (Pearson Longman)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	学内Pre-TOEFL TEST (ITP) を11月末と学期末に受験することができます。(別途受験料必要)

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Writing for Expressing Beliefs B/J. Angel						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This writing course focuses on the ability to use written English to articulate and defend one's beliefs.
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Chapter 8: the paragraph; topic sentences 3) Chapter 8: the paragraph; supporting and concluding sentences 4) Chapter 9: identifying themes of paragraphs 5) Chapter 9: writing paragraphs 6) Chapter 10: putting things in order: sequence and instructions 7) Chapter 10: telling a story-use of simple past tense 8) Chapter 10: Japanese fables 9) Chapter 11: personal letters; checking and correcting 10) Chapter 11: personal letters; peer-editing for content 11) Chapter 11: personal letters-final drafts 12) Chapter 12: Business letters; formal language 13) Chapter 12: Business letters; peer-editing for style; envelopes; applying for a job 14) Chapter 12: Business letters-final drafts 15) Revision <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	授業への参加度、エッセイ、長文エッセイで総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業を重視する。1/3以上授業を欠席した者には単位を認定しない。
教科書 Textbook(s)	From Word to Letter Peter Mallett, Keiko Yamauchi Kaibunsha Publications ISBN 978-4-87571-742-3
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Writing for Expressing Beliefs B/P. J. Mallett						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This writing course focuses on the ability to use written English to articulate and defend one's beliefs.
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Chapter 8: the paragraph; topic sentences 3) Chapter 8: the paragraph; supporting and concluding sentences 4) Chapter 9: identifying themes of paragraphs 5) Chapter 9: writing paragraphs 6) Chapter 10: putting things in order: sequence and instructions 7) Chapter 10: telling a story-use of simple past tense 8) Chapter 10: Japanese fables 9) Chapter 11: personal letters; checking and correcting 10) Chapter 11: personal letters; peer-editing for content 11) Chapter 11: personal letters-final drafts 12) Chapter 12: Business letters; formal language 13) Chapter 12: Business letters; peer-editing for style; envelopes; applying for a job 14) Chapter 12: Business letters-final drafts 15) Revision <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	授業への参加度、エッセイ、長文エッセイで総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業を重視する。1/3以上授業を欠席した者には単位を認定しない。
教科書 Textbook(s)	From Word to Letter Peter Mallett, Keiko Yamauchi Kaibunsha Publications ISBN 978-4-87571-742-3
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Writing for Expressing Beliefs B/B. Plett						
担当教員	B. Plett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This writing course focuses on the ability to use written English to articulate and defend one's beliefs.
授業計画 Syllabus	<p>The week-by-week lesson plan will be as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 10 – Study Abroad, Contacting a language school abroad 2. Chapter 10 – Study Abroad, Contacting a language school abroad 3. Chapter 11 – A New Employee, Dealing with a staff member from abroad 4. Chapter 11 – A New Employee, Dealing with a staff member from 5. Speech writing 1 6. Speech writing 2 7. Class speech contest 8. Chapter 12 – Getting a job, The application and interview process 9. Chapter 12 – Getting a job, The application and interview process 10. Presentation 11. Hand in homework / Language Review 4 12. Essay writing 1 13. Essay writing 2 14. Essay writing 3 15. Hand in homework / Final writing task <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	授業への参加度、エッセイ、長文エッセイで総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業を重視する。1/3以上授業を欠席した者には単位を認定しない。
教科書 Textbook(s)	<p>Writing Plus! Practical English Writing Skills for University and College Alan Jackson 金星堂 ISBN 978-4-7647-3803-4</p>
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Writing for Expressing Beliefs B						
担当教員	I. Sandhu						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This writing course focuses on the ability to use written English to articulate and defend one's beliefs.
授業計画 Syllabus	<p>The week-by-week lesson plan will be as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 10 – Study Abroad, Contacting a language school abroad 2. Chapter 10 – Study Abroad, Contacting a language school abroad 3. Chapter 11 – A New Employee, Dealing with a staff member from abroad 4. Chapter 11 – A New Employee, Dealing with a staff member from 5. Speech writing 1 6. Speech writing 2 7. Class speech contest 8. Chapter 12 – Getting a job, The application and interview process 9. Chapter 12 – Getting a job, The application and interview process 10. Presentation 11. Hand in homework / Language Review 4 12. Essay writing 1 13. Essay writing 2 14. Essay writing 3 15. Hand in homework / Final writing task <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	授業への参加度、エッセイ、長文エッセイで総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業を重視する。1/3以上授業を欠席した者には単位を認定しない。
教科書 Textbook(s)	Writing Plus! Practical English Writing Skills for University and College Alan Jackson 金星堂 ISBN 978-4-7647-3803-4
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Writing for Expressing Beliefs B/I. Sandhu						
担当教員	I. Sandhu						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This writing course focuses on the ability to use written English to articulate and defend one's beliefs.
授業計画 Syllabus	<p>The week-by-week lesson plan will be as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 10 – Study Abroad, Contacting a language school abroad 2. Chapter 10 – Study Abroad, Contacting a language school abroad 3. Chapter 11 – A New Employee, Dealing with a staff member from abroad 4. Chapter 11 – A New Employee, Dealing with a staff member from 5. Speech writing 1 6. Speech writing 2 7. Class speech contest 8. Chapter 12 – Getting a job, The application and interview process 9. Chapter 12 – Getting a job, The application and interview process 10. Presentation 11. Hand in homework / Language Review 4 12. Essay writing 1 13. Essay writing 2 14. Essay writing 3 15. Hand in homework / Final writing task <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	授業への参加度、エッセイ、長文エッセイで総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業を重視する。1/3以上授業を欠席した者には単位を認定しない。
教科書 Textbook(s)	<p>Writing Plus! Practical English Writing Skills for University and College Alan Jackson 金星堂 ISBN 978-4-7647-3803-4</p>
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Writing for Expressing Beliefs B/R. St. Pierre						
担当教員	R. St. Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This writing course focuses on the ability to use written English to articulate and defend one's beliefs.
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction 2. Cards for All Occasions 3. From Writing Better 4. Living Abroad 5. From Writing Better 6. A Social Problem 7. Language Review 3 8. Conference Day 9. Study Abroad 10. From Writing Better 11. A New Employee 12. From Writing Better 13. Getting a Job 14. Language Review 4 15. From Writing Better <p>Conference Day</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	授業への参加度、エッセイ、長文エッセイで総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業を重視する。1/3以上授業を欠席した者には単位を認定しない。
教科書 Textbook(s)	Writing Plus! Practical English Writing Skills for University and College Alan Jackson 金星堂 ISBN 978-4-7647-3803-4
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	Writing for Expressing Beliefs B/C. L. Starling						
担当教員	C. L. Starling						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This writing course focuses on the ability to use written English to articulate and defend one's beliefs.
授業計画 Syllabus	<p>The week-by-week lesson plan will be as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 10 – Study Abroad, Contacting a language school abroad 2. Chapter 10 – Study Abroad, Contacting a language school abroad 3. Chapter 11 – A New Employee, Dealing with a staff member from abroad 4. Chapter 11 – A New Employee, Dealing with a staff member from 5. Speech writing 1 6. Speech writing 2 7. Class speech contest 8. Chapter 12 – Getting a job, The application and interview process 9. Chapter 12 – Getting a job, The application and interview process 10. Presentation 11. Hand in homework / Language Review 4 12. Essay writing 1 13. Essay writing 2 14. Essay writing 3 15. Hand in homework / Final writing task <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical (実習)
評価方法 Evaluation	授業への参加度、エッセイ、長文エッセイで総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業を重視する。1/3以上授業を欠席した者には単位を認定しない。
教科書 Textbook(s)	<p>Writing Plus! Practical English Writing Skills for University and College Alan Jackson 金星堂 ISBN 978-4-7647-3803-4</p>
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	This class uses two levels of textbook. Make sure to get the correct textbook for your section.

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	アカデミックライティングB						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	基礎から学ぶ英文アカデミック・ライティング 前期に、多彩な文章を作り上げることを学んだ延長上の展開を行います。 後期の授業では、具体的にはセンテンスを織り上げてパラグラフを組み立てたり、また種々の文書の書き方を学びます。
授業計画 Syllabus	後期Chapter 7-12 前期で習得したことを応用します。 具体的には個人の考えや意見を個別に組み立て、それを文章にし、更に添削や校正を加えて「書類」に作り上げます。 1. revision 2. Chapter 7 Talking of time: use of when & used to 3. Chapter 7 Talking of time: use of when for future use 4. Chapter 8 What is a paragraph?: different from 段落 5. Chapter 8 What is a paragraph?: formation, formatting 6. Chapter 9 Identifying themes of paragraphs 7. Chapter 9 Separating ideas into paragraphs 8. Chapter 10 Sequence 9. Chapter 10 Editing 10. Chapter 11 Letter writing: parts of a personal letter 11. Chapter 11 Letter writing: layout, checking, correcting 12. Chapter 12 Letter writing: business letters 13. Chapter 12 Letter writing: use of appropriate register 14. overall revision 15. final paper
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	前期と同様に授業中には個人の書く文章を個別に添削、板書で手本を示し、分り易い丁寧な授業を行います。
評価方法 Evaluation	平常（提出物）：確認テスト＝8：2
履修上の注意 Requirements and policy	出席重視、予習と復習の徹底を重視します。 積み重ねが重要ですので、全出席の心構えで臨むこと。熱意と誠意に欠ける学生は歓迎しません。
教科書 Textbook(s)	必ず予習すること。 分らないことは授業中に質問すること。 その他授業中に紹介します。 「From Word to Letter」 Peter Mallett、山内啓子共著 開文社
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	意味と運用B						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>この授業では、意味と運用 A と同様に、ことばの「意味」をめぐる多様な問題を取り上げ、ことばを使う人間をより深く理解することを目的とするが、特に、文の意味、さらに、一文を越えた、ことばの使用場面に関わる「意味」の問題を中心にとりあげる。</p> <p>文と文の論理的な関係を理解し、論理では捉えきれない意味の多彩さについても考える。意味の問題を通じ、言語の不思議さ・おもしろさを経験してもらう予定。</p> <p>授業では、英語や日本語の日常の場面に即したことばの使用例から、会話の相手に話し手の意図がどのように伝わっていくかを整理して、そこに見出される一定の法則性を明らかにする。</p> <p>また、文章・談話の意味を中心に考える一方、論理的に効果のある論証のしかたを実例に即して考えていく。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>(以下は取り扱う予定のトピックだが、必ずしもこの順序で、また、こればかりを取り扱うわけではない。)</p> <p>第1回: この授業で学ぶこと 第2回: 論理って何? 第3回: 意味と論理 第4回: ことばと世界 第5回: 論理と推論 第6回: あれこれ、あだこうだ (指示語) 第7回: 煙草をやめた (含意と前提) 第8回: する前に、した後で (時制) 第9回: 何もかも、何にも (肯定と否定) 第10回: ことばと状況 第11回: 知っていること、知ったこと (旧情報と新情報) 第12回: 明日死んだら (反実仮想) 第13回: 空気を「読む」 (関連性) 第14回: 目は口ほどに物を言う? (言語行為) 第15回: まとめ</p>						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	2、3回の導入の後、プリントにしたがって、講義形式で進める。 練習問題の一部は授業中に一緒に考えていく。						
評価方法 Evaluation	おおむね、出席点 30%、授業中の小テスト 40%、期末レポート 30% の割合で成績をつける。 前半で出席率が極端に悪い人は、単位を必要としないものと判断することもあるので要注意。						
履修上の注意 Requirements and policy	この授業を受けるのに、言語学や数学の知識は必要としない。すべて授業中に説明する予定。 小テストの比重が大きいので、出し洩れがないように気をつけること。						
教科書 Textbook(s)	プリントを配布						

参考書 Reference(s)	授業時間中に指示する。
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	エッセイライティングB/Essay Writing B						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course will build on the composition skills learned in 'Essay Writing A', providing an introduction to academic writing. Students will start to write academic essays. The course will be particularly useful for students considering writing a graduation thesis. At the end of the semester we will work on a newspaper with articles based on interviews of our Cambodian student in December.
授業計画 Syllabus	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. Student input in the content of this course is welcome. <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction/ recap 2) Problem/ solution paragraphs 3) The structure of an essay. Thesis statements 4) Outlining an essay 5) Introductions 6) Conclusions 7) Using quotations 8) Unity and coherence 9) Essay writing 10) Film reviews 11) Film reviews 12) Interviews with Cambodian student 13) Preparation of newspaper 14) Preparation of newspaper 15) Preparation of newspaper
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	Final grades will be based on work in class and written assignments. There will be at least one book report and one major writing project before the end of the semester.
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance (more than 75%) is one of the criteria for passing this course. Students will be expected to improve their writing style and vocabulary by reading and writing book reports.
教科書 Textbook(s)	Success with College Writing: From Paragraph to Essay Dorothy E Zemach & Lisa A Rumisek (Macmillan Languagehouse)
参考書 Reference(s)	Please bring an English dictionary to this class.

備考 Remarks	
---------------	--

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語学概論B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	さまざまな視点から「英語の成り立ちと働き」を概観する授業。特に、英語の文構造、意味のしくみ、スタイルやコミュニケーションのあり方、ことばと文化の関係などの問題を取り上げます。英語教育関係を進路とする人のほか、いろいろな分野で英語と深く付き合っていくみなさんにとって、その活動の土台となる知識を提供します。
授業計画 Syllabus	<p>講義内容と授業計画</p> <p>第1回 はじめに：英語の音のしくみ、語のしくみ、文のしくみ</p> <p>1. 英語の文のしくみ：統語論</p> <p>第2回 文の分析方法</p> <p>第3回 文の構造と意味</p> <p>第4回 英文法と普遍文法</p> <p>2. 英語の意味1：意味論</p> <p>第5回 意味の多様性</p> <p>第6回 意味の変化と意味関係</p> <p>3. 英語の意味2：語用論</p> <p>第7回 発話としてのことばの意味</p> <p>第8回 会話のルールとていねいさ、テキストと談話</p> <p>第9回 テキストと談話</p> <p>4. 英語のスタイル：文体論</p> <p>第10回 文体と使用域</p> <p>第11回 英語のスタイル</p> <p>5. コミュニケーション</p> <p>第12回 コミュニケーションの成立、動物のコミュニケーションと人間の言語</p> <p>6. 人間・社会・文化</p> <p>第13回 言語と心</p> <p>第14回 言語と社会、言語と文化</p> <p>第15回 学期のまとめと総復習、期末試験</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義と練習問題による演習
評価方法 Evaluation	出席と練習問題の提出状況 30%、期末試験 70% 授業回数の3分の2以上出席した人が定期試験の受験資格を得るものとします。
履修上の注意 Requirements and policy	練習問題のプリントは、授業出席者のみ配布します。欠席の時は、翌週授業時に限り再配布します。座席指定。
教科書 Textbook(s)	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子／堀田知子／沖田知子著、松柏社、ISBN4-7754-0004-5
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語学特論B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>ことばが映す話し手の心理 英語学の中の意味を扱う分野の一つである語用論の話題として、ことばと人の心理との関係を考えます。 ことばは、私たちが目にする世界をそのまま映すものではありません。ことばの中にはとらえている世界に対する人の心理が必ず表現されています。“I love you.”ということばは、「私があなたを愛している」という状況を説明しているものではなく、発言そのものが「大好き!」という気持ちの表れです。この授業では、「ことばと人」をキーワードにして、ことばに伴う心理的な機能、ことばが映す人間心理について考えます。</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回 授業オリエンテーション; 英語学のセンスを試してみようB 1. 表現と話者の主観性 第2回 1.1. ことばのモードを切り換える 第3回 1.2. ことばのモードの微調節 第4回 1.3. I thinkの意味と文法 第5回 1.4. 主語指向の副詞と話者指向の副詞 第6回 1.5. 対人関係の中のモダリティ 第7回 特別テーマ「ココロを伝える英文法」 2. 文の意味と情報の構造 第8回 2.1. 新情報と旧情報 第9回 2.2. 否定文と情報の構造 第10回 2.3. 談話の中の受動態 第11回 2.4. 日英語の表現法と情報の省略 3. 語用論とその周辺 第12回 3.1. 女性のことばと男性のことば 第13回 3.2. 言語習得と語用論 第14回 3.3. ことばと人の関係:語用論の仕事 第15回 学期のまとめと期末試験</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義および練習問題による演習
評価方法 Evaluation	練習問題プリントの提出回数と内容による平常点=30%、期末試験成績=70%
履修上の注意 Requirements and policy	講義プリント(練習問題を含む)は、授業出席者のみ配布します。欠席時は翌週授業時に限り再配布します。
教科書 Textbook(s)	プリントを使用します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語教育概論A						
担当教員	岩井 麻紀						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	英語教育と英語学習 英語教育の歴史、英語を教える際に必要な外国語の習得理論及び教授法、早期英語教育などについて紹介します。
授業計画 Syllabus	<p>第1回：英語教育の歴史 第2回：英語教育の歴史 第3回：英語教育の歴史 第4回：言語習得 第5回：言語習得 第6回：英語教授法 第7回：英語教授法 第8回：英語教授法 第9回：リスニングの指導 第10回：スピーキングの指導 第11回：リーディングの指導 第12回：ライティングの指導 第13回：教材 第14回：早期英語教育 第15回：質疑応答・試験</p> <p>児童英語についてゲストスピーカーの訪問予定有り</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	テスト50%・平常点50%（出席・授業参加・提出物）
履修上の注意 Requirements and policy	2/3以上の出席が必要。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語教育特論B						
担当教員	濱本 秀樹						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	言語習得のプロセス、さらに教授法を学習します。英語教員（中高、小学校、塾など）を目指す人のみならず、将来英語を使った仕事に就きたいと考えている人にも意義のある内容を提供します。
授業計画 Syllabus	<ul style="list-style-type: none"> (1) ジェスチャとSLA1 (2) ジェスチャとSLA2 (3) 動機の研究 1 (4) 動機の研究 2 (5) 日本人の苦手な英語の特徴 (6) 苦手部分の改善方法 1 (文法) (7) 苦手部分の改善方法 2 (聞き取り) (8) 苦手部分の改善方法 3 (読解) (9) 臨界期の問題再考 (10) 授業実践の研究 1 (11) 授業実践の研究 2 (12) 子供の英語教室 (13) 子供の英語教室のシラバス (14) なにが結局、言葉習得の妨げなのか (15) まとめと試験
参照URL Referance URL (s)	
授業方法 Class type	毎回授業内容の確認のために小テストを実施。
評価方法 Evaluation	小テスト30% 定期テスト70%
履修上の注意 Requirements and policy	できるだけ前期、後期連続して受講してください。
教科書 Textbook (s)	認知的アプローチによる外国語学習 (松柏社) ISBN4-88198-930-8
参考書 Reference (s)	教室指示
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論A						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>文化とコミュニケーション</p> <p>この授業のねらいは主に2つあります。1つは英語圏の人々と「異文化間コミュニケーション」ができるような実践的英語力の基礎を身につけることです。もう1つは、「コミュニケーション」のしくみを理論的に学ぶことです。</p> <p>本年度は、英語圏を中心とした海外のテレビ・コマーシャルを実際に数多く見ることによって、ナチュラル・スピードの英語の聴解力を養い、英語圏の文化に対する理解を深めます。</p> <p>コマーシャルの分析を通じて、メッセージの伝達方法と文化の関連を考え、日本文化と英語圏文化の差異について具体例に基づいて検討します。また、コミュニケーション論の隣接領域である心理学の基礎知識や英語通訳技術の基礎、そしてコミュニケーションの理論を紹介し、効果的な異文化間コミュニケーション能力を養成します。</p> <p>このような知識・能力は、ジャーナリズムや航空・旅行業界などの接客業に関心がある人にとっても就職に有利な武器になるでしょう。</p> <p>また、将来、留学を考えている人にとっては、実践的な異文化間コミュニケーション力の基礎を養うことができるでしょう。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>第1回 オリエンテーション 第1章</p> <p>第2回 第2章：比較広告①</p> <p>第3回 第3章：ステレオタイプ</p> <p>第4回 演習：コミュニケーションの理論（身体運動学、近接学）</p> <p>第5回 第4章：英国とデンマークのコマーシャル</p> <p>第6回 第5章：高齢者をテーマにした米国のコマーシャル</p> <p>第7回 第6章：英国と米国のコマーシャルの比較</p> <p>第8回 演習：非言語コミュニケーション（近接学II）</p> <p>第9回 第7章：ドイツのコマーシャル</p> <p>第10回 第8章：韓国のコマーシャル</p> <p>第11回 第9章：米国で放送禁止のコマーシャル</p> <p>第12回 第10章：動物をトピックにしたコマーシャル</p> <p>第13回 第11章：比較広告②</p> <p>第14回 第12章：PSAの広告</p> <p>第15回 まとめとテスト</p>						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	講義						
評価方法 Evaluation	<p>試験：6、レポート：2、平常点：2＝計10（試験：レポート：平常点＝3：1：1 で評価する。）</p> <p>試験で60点未満の人、また試験を受験しなかった人はレポートを提出しても不合格になります。</p>						
履修上の注意 Requirements and policy	<p>遅刻・途中退室は厳禁です。随時、プリント教材を配布します。</p> <p>受講希望者が多い場合は、前期・後期開講の「英語コミュニケーション概論A」の両方とも、先着55名に受講者数を制限しますので、4月の最初の授業には必ず出席して下さい。詳しくは学年最初のオリエンテーションにて説明します。</p>						
教科書 Textbook(s)	<p>TVコマーシャルに見る異文化（I）</p> <p>岩崎暁男ほか著（成美堂）</p> <p>ISBN 4-7919-4544-1</p>						
参考書 Reference(s)	<p>参考書の購入は受講生に任せます。授業の内容を更に深めたい学生は、以下の参考書の購入が望ましいです。</p> <p>また、様々な参考文献を毎回紹介します。</p> <p>テキスト心理学 橋本憲尚ほか著（ミネルヴァ書房）</p>						

備考 Remarks	
---------------	--

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>テレビ・コマーシャルに見る異文化</p> <p>この授業では、主に英語圏のテレビ・コマーシャルを数多く見て、ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに慣れ、異文化への理解を深めることを目標にします。</p> <p>短時間で、製品やサービスを売り込むことをねらって制作されているコマーシャルには、それぞれの文化が「最も効果的」だと考えるコミュニケーション・スタイルのエッセンスが詰まっています。</p> <p>「英語コミュニケーション概論A」の応用編、という意味のある授業なので、川中紀子担当の概論Aを受講した上でこの授業を受ければ、異文化間コミュニケーションへの理解が深まり、より高度な英語の聞き取りに挑戦することができるでしょう。</p> <p>また、2回生から初めて川中紀子担当の授業を受ける人にとっても、海外のコマーシャルを見ながら、実践的な英語力が身につくように指導します。留学・就職にも役に立つ授業になるでしょう。</p> <p>随時、実際に英語圏の大学・大学院で使われているコミュニケーション論のテキスト（洋書）やTOEFLの練習問題も使いますので、留学を考えている人には、その準備となるでしょう。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>第1回：オリエンテーション（広告の社会・文化的背景）</p> <p>第2回：第1章（アメリカ合衆国の広告の特徴）</p> <p>第3回：第2章（比較広告）</p> <p>第4回：第3章（SFをテーマにした広告）</p> <p>第5回：第4章（問題解決志向の広告）</p> <p>第6回：第5章（歴史的な事実を用いた広告）</p> <p>第7回：第6章（誇大広告）</p> <p>第8回：第7章（環境保護をテーマにした広告）</p> <p>第9回：第8章（映画をもとに作られた広告）</p> <p>第10回：第9章（「お金」がテーマの広告）</p> <p>第11回：第10章（ストーリー形式の広告）</p> <p>第12回：第11章（音楽を用いた広告）</p> <p>第13回：第12章（非言語コミュニケーションの理論を学ぶ広告）</p> <p>第14回：まとめ</p> <p>第15回：テスト</p>						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	講義と演習						
評価方法 Evaluation	試験：6、レポート：2、平常点：2=計10（試験：レポート：平常点=3：1：1 で評価する。）						
履修上の注意 Requirements and policy	<p>毎回の出席を大切に、集中力を持って受講して下さい。</p> <p>参考文献を多数、指示します。</p> <p>また、受講者を先着55名に制限しますので、最初の授業に必ず出席してください。</p>						
教科書 Textbook(s)	<p>TVコマーシャルに見る異文化（II）</p> <p>岩崎暁男ほか（成美堂）</p> <p>ISBN 4-7919-4559-X</p>						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーションスキルB/Communication Skills B						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This class aims to develop the English language skills necessary to communicate successfully at the intermediate level.
授業計画 Syllabus	<p>Week 1 Introduction & Unit 7 - Describing people and showing gratitude (1)</p> <p>Week 2 Unit 7 - Describing people and showing gratitude (1)</p> <p>Week 3 Unit 7 - Describing people and showing gratitude (2)</p> <p>Week 4 Unit 8 - Giving invitations and asking for information (1)</p> <p>Week 5 Unit 8 - Giving invitations and asking for information (2)</p> <p>Week 6 Unit 9 - Sharing information on tastes in music (1)</p> <p>Week 7 Unit 9 - Sharing information on tastes in music (2)</p> <p>Week 8 Unit 10 - Describing fashions and styles (1)</p> <p>Week 9 Unit 10 - Describing fashions and styles (2)</p> <p>Week 10 Unit 11 - Describing situations and giving opinions (1)</p> <p>Week 11 Unit 11 - Describing situations and giving opinions (2)</p> <p>Week 12 Unit 12 - Asking for and giving advice (1)</p> <p>Week 13 Unit 12 - Asking for and giving advice (2)</p> <p>Week 14 Review and consolidation</p> <p>Week 15 Review and consolidation</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Practical
評価方法 Evaluation	<p>Final grades will be based on participation, quizzes and project work.</p> <p>Oral evaluations 70%</p> <p>Written evaluations 20%</p> <p>Participation 10%</p>
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance and active participation are required. Students absent for more than 1/3 of the class sessions will fail the course.
教科書 Textbook(s)	<p>Active Skills for Communication Book 1</p> <p>Chuck Sandy and Curtis Kelly</p> <p>Heinle Cengage Learning, 2009 edition,</p> <p>ISBN : 978-1-4240-0905-3</p>
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーションスキルB/Communication Skills B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	To develop confidence in English communication in real-life situations, and also learn how to communicate by gesturing. We will be using the textbook as a basis for pair, group and class discussions and communication activities. Each unit culminates in a small, enjoyable communication project.
授業計画 Syllabus	Week 1 Introduction Week 2 Unit 7 - Gift-giving (1) Week 3 Unit 7 - Gift-giving (2) Week 4 Unit 8 - Planning a party (1) Week 5 Unit 8 - Planning a party (2) Week 6 Unit 9 - Sharing information on music tastes (1) Week 7 Unit 9 - Sharing information on music tastes (2) Week 8 Unit 10 - Fashion designing (1) Week 9 Unit 10 - Fashion designing (2) Week 10 Unit 11 - Discussing situations and giving opinions (1) Week 11 Unit 11 - Discussing situations and giving opinions (2) Week 12 Unit 12 - Finding solutions to problems (1) Week 13 Unit 12 - Finding solutions to problems (2) Week 14 Gesturing in English Week 15 Review and Final quiz
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Lecture. We will be using the textbook as a basis for pair, group and class discussions and communication activities. Each unit culminates in a small, enjoyable communication project.
評価方法 Evaluation	Assessment will be made on class participation, successful completion of small communication projects and passing a final quiz Class participation = 40% Projects = 30% Final quiz = 20%
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance, active participation, completion of projects and passing the final quiz are essential for passing this course.
教科書 Textbook(s)	Active Skills for Communication Book 1, by Chuck Sandy and Curtis Kelly Published by : Heinle Cengage Learning, 2009 edition, Student book + CD ISBN : 978-1-4240-4315-6
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論B/Special Lecture on Communicati						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>映画理論と文化</p> <p>映画ビデオを観ながら、映画理論・分析方法論を紹介します。社会の中でメディアが果たす役割と文化に及ぼす影響、また「女性性」の表現について考察します。白雪姫、シンデレラ、(シンデレラIII)、オーロラ姫、ベル、アリエル、ジャスミン、そして『魔法にかけられて』のジゼルなど、様々なディズニー・プリンセスもとりあげ、時代によって変化する女性像を考察していきます。英語で映画を見ることにより、英語の力を向上させることも目指します。</p> <p>前期(特論A)はヒッチコックの映画『裏窓』『めまい』を中心に「見る男性・行動する男性」に対して「見られる女性・受身の女性」という図式を映像の中に読み取っていくフェミニスト映画理論について批評します。</p> <p>後期(特論B)は、前期で紹介したカメラ・アイ、ファッションなどを含む映画理論・分析方法論を「女性の心の発達」というテーマから考察していきます。</p> <p>後期では、女性の心が成長するプロセスを扱った映画の中で、ヒッチコックの『レベッカ』を鑑賞し、批評家の分析を紹介することから始めます。女性の心の発達を映画を通じて考える良い機会になるでしょう。『ローマの休日』『千と千尋の神隠し』『時をかける少女』などの映画の鑑賞・分析も予定していますが、後期で中心となるのは、受講生みなさんの映画の発表とディスカッションです。</p> <p>3、4回生での演習・卒論に取り組む際にはもちろん、社会人になっても重要となる「プレゼンテーション力」「コミュニケーション力」を鍛えるためにも、レジュメを作成して発表するという経験に早くから挑戦してもらいたいものです。時間が許せば、映画のほかにも人気漫画や演劇などにも触れ、さまざまな女性像・男性像を考えてみたいのです。</p> <p>映画が好きな受講生はもちろん、ポピュラー・カルチャー、ファッション、フェミニズムなど幅広い関心を持った皆さんの積極的な参加を期待します。映画を楽しみ、積極的にディスカッションや発表に参加したい人はぜひ受講して下さい。できれば、特論A、Bと通年で履修されることを薦めます。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>第1回：オリエンテーション(非言語コミュニケーションと映画理論)</p> <p>第2回：女性の心の発達と映画に見る女性像</p> <p>第3回：『レベッカ』鑑賞と批評 ①</p> <p>第4回：『レベッカ』鑑賞と批評 ②</p> <p>第5回：『レベッカ』鑑賞と批評 ③</p> <p>第6回：精神分析と映画理論</p> <p>第7回：『レベッカ』の女性像にみるエレクトラ・コンプレックス</p> <p>第8回：女性の心の発達と映画にみる「通過儀礼」のテーマ</p> <p>第9回：『時をかける少女』鑑賞と批評</p> <p>第10回：『時をかける少女』鑑賞と批評</p> <p>第11回：時代によって変化するディズニー・プリンセス</p> <p>第12回：受講生のプレゼンテーション①</p> <p>第13回：受講生のプレゼンテーション②</p> <p>第14回：受講生のプレゼンテーション③</p> <p>第15回：まとめとテスト</p>						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	講義						
評価方法 Evaluation	試験：6、レポート：2、平常点：2=計10 (試験：レポート：平常点=3：1：1 で評価する。)						
履修上の注意 Requirements and policy	途中入退室・電源を切らない携帯電話は厳禁です。マナーを守った受講態度を期待します。受講者を先着60名に制限しますので、最初の授業に必ず出席して下さい。						

教科書 Textbook (s)	
参考書 Reference (s)	授業中にたくさんの参考文献を指示します。
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜5	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>コンピュータを使って英語とことばを考える</p> <p>コンピュータを使って、英語、そしてことば全体について考える方法を学びます。後期は特にデジタルドキュメントの作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Word をちゃんと使っていますか？ Word を使って論文など「構造」のある文章を書いてみる ・ コンピュータから見た文章の仕組み 文章の仕組み、変化していく文章、文章のきまりごと ・ もっとインターネットを活用する インターネットで自分のファイルを管理したり他の人と共有する方法 ・ ウェブサイトを作ろう 複数のファイルからなるサイトを作ります。フレームやスタイル・ファイルについて。 ・ きれいな文章を作ろう LaTeX を使ってきれいな文章を作る方法を学びます。
------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction and Preparation 授業の準備 <ol style="list-style-type: none"> 1. これからの授業の内容を話します 2. Mac の設定 * 自分のアカウントを作ります 3. Web mail の設定 2. Learn to use Word (1) Word の使い方(1) <ul style="list-style-type: none"> * アウトライン機能を使って文章の仕組みを決めよう * 英語のフォント、日本語のフォント 3. Learn to use Word (2) Word の使い方(2) <ul style="list-style-type: none"> * 英文を書くルール --- パンクチュエーション * 画像の取り組み、作表など 4. Learn to use Word (3) Word の使い方(3) <ul style="list-style-type: none"> * Podcast の英語リスニング教材を使って、Word で書き取り。 5. Learn to use Word (4) Word とリスニングのつづき 6. Learn to use Word (5) 写真も入れて楽しいページにしてみよう。 7. Create your web page! (1) HTML でウェブページを作ろう <ul style="list-style-type: none"> * mi をダウンロードしてインストール。 * HTML の基本コマンド。 8. Create your web page! (2) <ul style="list-style-type: none"> * 色を使う、写真を取り込む * 表を使って写真をきれいに配置♪ 9. Create your web page! (3) 「スタイル」に挑戦！ <ul style="list-style-type: none"> * 「スタイル」を定義することでおしゃれなページになります 10. Create your web page! (4) 「スタイル」に挑戦！ <ul style="list-style-type: none"> * スタイルを使って作業続行！ 11. Create your web page! (5) マルチメディア英語教材を作ろう 12. Create your web page! (6) マルチメディア英語教材作業続行 12. Create your web page! (7) * ウェブページに音や動画などをプレイヤーとともに埋め込もう
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画 Syllabus	13. Create your web page! (8) *複数ページにわたるサイトを作ろう 14. 13. Create your web page! (9) *複数ページにわたるサイトを作ろう 作業続行 15. サイト完成と復習
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義と実習。 ・複数回製作課題をデジタル・ファイルの形で提出してもらいます。
評価方法 Evaluation	提出課題の評価および出席。 提出課題が60点満点、出席は40点満点。詳細は教室で説明します。
履修上の注意 Requirements and policy	このクラスは実習が中心となるので、出席（欠席しないこと）が非常に重要です。 欠席すると前のクラスで習ったことがわからないし、それを補っていると他の受講者にとって迷惑でもあります。
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語聴解法研究B						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	発音確認練習から聴解力の向上と、英語運用能力の向上を目指します。
授業計画 Syllabus	<p>前期に引き続いた授業です： shadowing・repeating・速聴・多聴を繰り返すことで聴解力の能力を上げます。 しかし、単なる繰り返しの練習は退屈で挫折してしまうもの。 そこにクイズ形式をもたらしたり、視聴覚教材を用いたりして変化をつけながら能力の向上を目指します。</p> <p>textbook 後期 Dialog 2+3+4</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. revision 2. lesson 9 + music listening intonation, music 'From the Distance' 3. lesson 10 weak form/strong form 4. lesson 11 + 12 assimilation 2, 3 5. lesson 13 phrasal verbs 6. lesson 14 intonation, tag question 7. lesson 15 stress with speaker's intention 8. lesson 16 + 17 compound words, noun series 9. lesson 18 exclamations, superlatives 10. lesson 19 word stress shift 11. lesson 20 intonation, with speaker's intention 12. film watching 'Stella' part 1 13. film watching 'Stella' part 2 14. review 15. final exam
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	発音法に関しては日本語との比較も交えて、その仕組みを理解し、その上で訓練を進めます。
評価方法 Evaluation	<p>平常：小テストの累積=7:3 * 授業への積極参加（出席・発言・発信・自主性等）、小テスト、提出物等の累積評価に定期試験を加味して評価を行います。間違いや失敗を恐れない積極性を歓迎します。</p>
履修上の注意 Requirements and policy	<p>欠席をすると段階を経て理解する仕組みに支障をきたします。 前出席の心構えで臨んでください。</p>
教科書 Textbook(s)	<p>「英語音声学への扉」英宝社 ISBN978-4-269-63013-0 その他、配布資料、ウェブサイト。</p>
参考書 Reference(s)	授業中に指示します。
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語とコンピュータ概論A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>コンピュータで遊ぼう！</p> <p>コンピュータのさわり方から始めて、音楽を作ったり、マルチメディアの英語教材を作ったり — コンピュータでおしゃれに遊ぼう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デスクトップまわりをカスタマイズ ・メールの使い方 ・ブラウザを使いこなそう ・iTunes を使いこなそう ・Podcast 知ってる？ ・Let's play GarageBand! (GarageBandで音作り♪) ・英語教材を作ろう！
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction and Preparation これからの授業の内容を話します 2. Mac and Windows Mac と Windows の違いを知ろう 3. Firefox Firefox の紹介と使い方 4. iTunes 基本的な使い方 5. iTunes iTunes と MP3 について 6. Let's play GarageBand! (1) GarageBand で音楽を作ろう。 7. Let's play GarageBand! (2) GarageBand のつづきです。 先週までに作った GarageBand の音楽を MP3 に変換し、サーバにアップロード 8. iMovie iMovie を使って写真からムービーを作ろう。 9. iMovie GarageBandで作成した音楽と合わせてみよう 10. iMovie で英語教材(1) iMovie の字幕機能を活用して英語教材を作ろう 11. iMovie で英語教材(2) 作業の続き、サーバにアップロード みんなの作品はこちらで見ることができます。 12. English on iMovie Photoshop の使い方、Photoshop と iMovie で英語教材ムービーを作ろう。 13. English on iMovie (2) Photoshop の使い方の継続。 14. English on iMovie (3) 作業継続 15. English on iMovie (4) 作業完成、サーバにアップロード
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と実習。 ・複数回製作課題をデジタル・ファイルの形で提出してもらいます。
評価方法 Evaluation	<p>提出課題の評価および出席。</p> <p>提出課題が60点満点、出席は40点満点。詳細は教室で説明します。</p>

履修上の注意 Requirements and policy	このクラスは実習が中心となるので、出席（欠席しないこと）が非常に重要です。 欠席すると前のクラスで習ったことがわからないし、それを補っていると他の受講者にとって迷惑でもあります。
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>自信のもてる英語の発音を習得しよう。美しい発音を自分のものにして英語が好きになろう。 英語発音トレーニングAで習得した母音に続いて子音を習得します。トレーニングAで学んだことを強化しながら英語発音に必要なコツを得てください。 英語の発音に自信を持って学生生活を続け、社会に出て下さい。一度習得した発音は忘れることはありません。</p>
授業計画 Syllabus	<p>syllabusを調整しながらやります。発音トレーニングBから始める方もsyllabusの最初で基本のコツを扱います。最初が大切です。基礎がないところに建物は完成しません。</p> <p>liaison (リエゾン) elision (脱落) assimilation (同化) という音の現象名 をしばしば用います。 pp. 87-92に説明があります。</p> <p>1. 母音Vowelsの発音記号と実際の発音を確認しよう。 hard, heard, cut, cat等の母音の確認をpp.5-6 II. 音韻論を使って行う。</p> <p>2. p.16の子音Consonants全体の把握とpp.22-25の閉鎖音stops、無声閉鎖音/p, t, k/に起こるaspirationの確認 p.25閉鎖音の注意点 練習：pp.38-41 p.100のストレス、 p.110の内容語の導入</p> <p>3. 練習：pp.38-41の練習と/wu/の確認 pp.34-35, rの確認 pp.35-36 NHKの会話 Iより</p> <p>4. 摩擦音fricatives pp.25-30 練習：pp.42-49</p> <p>5. fricatives & 破擦音affricates p.31 練習：p.50</p> <p>6. NHKの会話より</p> <p>7. 半母音/w, r/ vs. 側音/l/ 練習：pp.56-57, pp.54-55</p> <p>8. 鼻音nasals pp.31-33 /g/が入る語と入らない語：young younger, finger vs. singer p.52</p> <p>時間があればNHKの会話 II</p> <p>9 Stress, pitch and intonation pp. 130-140 (p.130. 1-9, p.131. 1-5) Syllabus#2 でストレスと内容語は導入した。 弱形(weak form) vs. 強形(strong form) pp. 119-122</p> <p>10. Stress, pitch and intonation pp. 130-140 (p.130. 1-9, p.131. 1-5)</p> <p>11. syllables, stress, word stress and sentence stress pp.95-122</p> <p>12. syllables, stress, word stress and sentence stress pp.95-122 ◆Nasal plosion such as 'garden' and lateral plosion such as 'little' ◆'ear' vs. 'year, 'cars' vs. 'cards' の区別が出来ますか？ここで冬休み。</p> <p>13. 定期試験準備 phoneme (音素)、母音の長さの確認を含む</p> <p>14. 後期の既習事項の検討、質疑応答と後期試験 (paperとテープ) 冬休み後の2回目のクラス 1月19日</p> <p>15. 後期試験を用いた確認と整理</p>
参照URL Reference URL(s)	<p>http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/LLT.html</p>

授業方法 Class type	講義と、発音のコツの紹介と習得のトレーニング
評価方法 Evaluation	平常点になるテープ提出の回を重ねることで上達して定期試験の頃にやっと目標に到達することを鑑み、次の比率で評価する。 平常点20% 定期試験80%
履修上の注意 Requirements and policy	1時間1時間確実に復習しながら前進しますので、大切なことは出席です。毎時間紹介されるコツを集中して練習しなければ、後になって追いつこうとしても困難になるのです。教科書と授業で配布されるハンドアウトをします。授業用と提出用の60分カセットテープ2本を最初の授業に持参のこと。
教科書 Textbook(s)	松井千枝 著 『英語音声学』 (朝日出版社) 978-4-255-15193-9
参考書 Reference(s)	http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/LLT.html
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>自信のもてる英語の発音を習得しよう。美しい発音を自分のものにして英語が好きになろう。 英語発音トレーニングAで習得した母音に続いて子音を習得します。トレーニングAで学んだことを強化しながら英語発音に必要なコツを得てください。 英語の発音に自信を持って学生生活を続け、社会に出て下さい。一度習得した発音は忘れることはありません。</p>
授業計画 Syllabus	<p>syllabusを調整しながらやります。発音トレーニングBから始める方もsyllabusの最初で基本のコツを扱います。最初が大切です。基礎がないところに建物は完成しません。</p> <p>liaison (リエゾン) elision (脱落) assimilation (同化) という音の現象名 をしばしば用います。 pp. 87-92に説明があります。</p> <p>1. 母音Vowelsの発音記号と実際の発音を確認しよう。 hard, heard, cut, cat等の母音の確認をpp.5-6 II. 音韻論を使って行う。</p> <p>2. p.16の子音Consonants全体の把握とpp.22-25の閉鎖音stops、無声閉鎖音/p, t, k/に起こるaspirationの確認 p.25閉鎖音の注意点 練習：pp.38-41 p.100のストレス、 p.110の内容語の導入</p> <p>3. 練習：pp.38-41の練習と/wu/の確認 pp.34-35, rの確認 pp.35-36 NHKの会話 Iより</p> <p>4. 摩擦音fricatives pp.25-30 練習：pp.42-49</p> <p>5. fricatives & 破擦音affricates p.31 練習：p.50</p> <p>6. NHKの会話より</p> <p>7. 半母音/w, r/ vs. 側音/l/ 練習：pp.56-57, pp.54-55</p> <p>8. 鼻音nasals pp.31-33 /g/が入る語と入らない語：young younger, finger vs. singer p.52</p> <p>時間があればNHKの会話 II</p> <p>9 Stress, pitch and intonation pp. 130-140 (p.130. 1-9, p.131. 1-5) Syllabus#2 でストレスと内容語は導入した。 弱形(weak form) vs. 強形(strong form) pp. 119-122</p> <p>10. Stress, pitch and intonation pp. 130-140 (p.130. 1-9, p.131. 1-5)</p> <p>11. syllables, stress, word stress and sentence stress pp.95-122</p> <p>12. syllables, stress, word stress and sentence stress pp.95-122 ◆Nasal plosion such as 'garden' and lateral plosion such as 'little' ◆'ear' vs. 'year, 'cars' vs. 'cards' の区別が出来ますか？ここで冬休み。</p> <p>13. 定期試験準備 phoneme (音素)、母音の長さの確認を含む</p> <p>14. 後期の既習事項の検討、質疑応答と後期試験 (paperとテープ) 冬休み後の2回目のクラス1月14日</p> <p>15. 後期試験を用いた確認と整理</p>
参照URL Reference URL(s)	<p>http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/LLT.html</p>

授業方法 Class type	平常点になるテープ提出の回を重ねることで上達して定期試験の頃にやっと目標に到達することを鑑み、次の比率で評価する。 平常点20% 定期試験80
評価方法 Evaluation	1. 自分の発音を録音したテープ、授業中での発表 2. 試験 3. 出席
履修上の注意 Requirements and policy	1時間1時間確実に復習しながら前進しますので、大切なことは出席です。毎時間紹介されるコツを集中して練習しなければ、後になって追いつこうとしても困難になるのです。教科書と授業で配布されるハンドアウトを 사용합니다。授業用と提出用の60分カセットテープ2本を最初の授業に持参のこと。
教科書 Textbook(s)	松井千枝 著 『英語音声学』 (朝日出版社) 978-4-255-15193-9
参考書 Reference(s)	http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/LLT.html
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論A						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	文学に親しむ 主に現代文学を紹介します。英米の作家の小説や詩に触れることによって、現代に生きる私たちをとりまく問題に目をむけましょう。 愛と孤独、性、社会と個人、文化の多様性について考えるきっかけになれば幸いです。
授業計画 Syllabus	第1回：文学とは何か、文学批評とは何か 第2回：ジェイムス・ジョイスと『ダブリン市民』紹介 第3回：ジョイスの短編「アラビー」鑑賞 第4回：「アラビー」鑑賞と批評 第5回：「アラビー」批評の実践とフィードバック 第6回：シルビア・ピラスとテッド・ヒューズ紹介 第7回：映画『シルビア』鑑賞 第8回：テッド・ヒューズ“A childish Prank”鑑賞と批評 第9回：シルビア・ピラス“Crossing the Water”鑑賞と批評 第10回：レイモンド・カーバー紹介 第11回：映画『ショートカット』鑑賞 第12回：映画『ショートカット』鑑賞 第13回：レイモンド・カーバー“Why Don't You Dance?”鑑賞 第14回：レイモンド・カーバー“Why Don't You Dance?”批評 第15回：文学批評レポートの書き方指導
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	授業中の提出物と最終レポートを中心とする。
履修上の注意 Requirements and policy	出席を重視する。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	教室英語研究B						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0

<p>授業の目的、概要 Objectives and content</p>	<p>1. 英語は好きだし、使いたいし、意欲はあるが、よく英語を理解していない学生向けの授業。英語圏で日本語の助手を考えている人にも役立つ。A, Bを続けて履修して、英語が使えるようになってほしい。AもBも目的・概要の内容は同じだがAを基盤のBの授業をすすめていく。</p> <p>私は大学のある時点で、中学2年3年の教科書のまとめを、立ち読みで得た知識で読みなおした。辞書の使い方をじっくりと読んだ。その段階で、英語を読む／書く／聴く／話す習得方法が分かってきた。発音上、実際に通じるようにする為に、発音系の授業で学んだ発音記号をフルに利用・練習した。</p> <p>つまり、大学になって、それまで中高で習ったことを復習したことが、基本になっている。辞書は宝庫で、辞書があれば、かなり自分の表現が出来るようになる。よって授業では電子辞書を毎回持参のこと。</p> <p>この授業は今まで基本を復習する機会がなかった学生に、その機会を与える。</p> <p>2. 教科書を使って英語で英語が教えられるまでに決まった表現を毎回自分のものにする。 a. OxfordのEnglish for Primary TeachersのCDをshadowingして、表現を習得する。 b. その中に用いられている動詞の文型を辞書で確認し、教科書の表現を加えて拡大していく。shadowingして習得した表現を応用拡大したものを更に習得する。</p>
<p>授業計画 Syllabus</p>	<p>次の計画を教科書の「英語教室英語活用事典」を材料に展開していく。</p> <p>1. 文の構成と自動詞(p.31) vs. 他動詞(p.46, pp.191-193) English for Primary Teachers 2C/2E/2F/2H</p> <p>2. 前期にAを履修した学生は試験を返却 a. SV0 vs. SV b. 動詞の遺伝子：他動詞オレンジSV0, ブルー-SV00(give, show, get, buy, introduce等), SV00とto-group vs. for-group, ピンク(文と文をto, ing等でつなぐ), sit, pointの遺伝子を辞書で確認してみよう。</p> <p>3. a他動詞オレンジSV0, ブルー-SV00, ピンク(文と文をto, ing p.186等でつなぐ) b. SV0の0が節(主部と動詞がある)の場合</p> <p>4. a. 節, 従属節 p.55, pp.120-128(天候の表現に多い), p.147, p.183 b. SV0(疑問詞+不定詞) I know what to do. p.52, 55 c. 時制を新聞で。</p> <p>5. a. 従属節の強化 b. SV0(疑問詞+不定詞)の強化</p> <p>6. a. 時制 NHKのEnglish Newsを使って b. 関係節 c. 分詞(現在分詞/過去分詞) p.161 #9, p.55 Interaction(have+人+過去分詞pp)</p> <p>7. 関係節、分詞(現在分詞/過去分詞)とhave+人+過去分詞</p> <p>8. a. 自動詞の区別の確認(完全自動詞vs. 不完全自動詞) 白の自動詞。We're running. 緑の自動詞: He looks(is) happy. He became(became) a doctor. He lives in Kobe. (SVM) b. SVCのCとSV0のO: He is a student. He likes music.</p> <p>b. SVCのCとSV0のO: He is a student. He likes music.</p> <p>9. a. 今までの復習整理 b. 受動態と形容詞 This exercise is confusing. I am confused. (p.239 Student Response)</p> <p>10. ハイフォン a five-dollar bill vs. five dollars</p> <p>11. 紫の文型の再確認: put, keep, name, call etc.</p>

授業計画 Syllabus	12. ブルー-SV00 (to-groupの動詞とfor-groupの動詞) を再び English for Primary Teachers 2A Show me your book. → Show it to me. Buy me this book. → Buy it for me. と付加 13. a. 紫の文型とSV00の強化とデータベースの整理 b. データベースの整理で定期試験準備 14. 質疑応答と定期試験 15. 定期試験の検討と確認
参照URL Reference URL(s)	http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/LLT.html http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html http://ksw.shoin.ac.jp/jidoeng/
授業方法 Class type	講義と実践
評価方法 Evaluation	平常点となるテープとペーパーの提出と発表へのフィードバック、強化で目標に到達することを鑑み、次の比率で評価方法とする。 平常点30% 定期試験70%
履修上の注意 Requirements and policy	レンガを積んでピラミッドを作るように復習項目を重ねるので出席は重要である。 ジーニアス英和辞典が入っている電子辞書を必ず持参。60分のカセットテープも必要。
教科書 Textbook(s)	英語教室英語活用事典 高梨庸雄、高橋正夫、カール・アダムズ、久埜百合 研究社 ISBN-978-4-327-46149-2
参考書 Reference(s)	English for Primary Teachers Mary Slattery & Jane Willis Oxford University Press ISBN-10:0-19-437562-5 http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/LLT.html
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	クリティカルシンキングB						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>クリティカルシンキング入門 クリティカルシンキングとは、簡単に言えば論理的思考ということです。感情や雰囲気、表面的なごまかしに惑わされず、論理的に考えることは、これからの日常生活でもとても重要になってきます。詐欺や怪しげな勧誘に引っかからないためにも、クリティカルシンキングは有効でしょう。この授業では、簡単な英語のテキストを読み、英語の練習もしながら楽しく論理的思考の基礎を学んでいきます。 後期のBでは、前期に引き続きテキストを読み、クリティカルな思考法を磨いていきます。</p>						
授業計画 Syllabus	第1回 イントロ（授業説明） 第2回 Unit 6 (1) 小学校での英語教育 1 第3回 Unit 6 (2) 小学校での英語教育 2 第4回 Unit 7 (1) 大学入試と英語 1 第5回 Unit 7 (2) 大学入試と英語 2 第6回 Unit 7 (3) 大学入試と英語 3 第7回 質疑応答・中間試験 第8回 Unit 8 (1) 未成年者犯罪と死刑 1 第9回 Unit 8 (2) 未成年者犯罪と死刑 2 第10回 Unit 9 (1) 原爆投下の倫理的問題 1 第11回 Unit 9 (2) 原爆投下の倫理的問題 2 第12回 Unit 10 (1) 商業捕鯨 1 第13回 Unit 10 (2) 商業捕鯨 2 第14回 Unit 10 (3) 商業捕鯨 3 第15回 質疑応答・期末試験						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	講義と発表						
評価方法 Evaluation	試験×50%+授業参加点×50%						
履修上の注意 Requirements and policy	私語厳禁						
教科書 Textbook(s)	茂木秀昭他著 Taking Sides: Critical Thinking for Speech, Discussion and Debate (金星堂) ISBN: 978-4-7647-3710-5						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	形式言語理論B/Theoretical Linguistics B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course provides an introduction to the basic concepts of phonology and phonetics.
授業計画 Syllabus	第1回 : Sounds and Languages; Analyzing Sounds 第2回 : Pitch; Vowel contrasts 第3回 : Acoustic Structure of Vowels 第4回 : The Sounds of Consonants 第5回 : Making English Consonants 第6回 : Making English Vowels 第7回 : Sounds in other Languages 第8回 : Sound Contrasts 第9回 : Phonemes and Allophones 第10回 : Complementary distribution 第11回 : Using Features to describe Sounds 第12回 : Making Words from Sounds; Morphology 第13回 : Changing Sounds; Alternations 第14回 : Syllables and Phonotactics 第15回 : Summary and final test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Lecture (講義)
評価方法 Evaluation	Participation and Homework 80%, Final Test 20%
履修上の注意 Requirements and policy	There will be 3 homework assignments. These assignments must be handed in on time.
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	言語と統計B						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>数学が苦手な文学部の学生でも、将来の進路によっては数学・統計方面の知識が要求されることが多くなりました。しかしいきなり難しい数学のテキストは、文系の学生にはなかなかハードルが高いです。この授業では、基本的な中学初年度程度の数学から出発し、ゆっくりと必要最低限の数学と統計学の知識と理解を学ぶことにします。わからないところはできるだけ細かく指導するつもりでいますので、数学アレルギーのある学生でも、ともかくのぞいてみて下さい。</p> <p>後期のBでは、前期の教科書の残りをまずは終えて、それからいよいよ統計の基本を学びます。</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回 イン트로 (授業説明) 第2回 第5章(1) 微分の基礎 第3回 第5章(2) 微分とグラフ 第4回 第5章(3) 微分の応用 第5回 第6章(1) 不定積分 第6回 第6章(2) 定積分 第7回 第7章(1) 確率とは 第8回 第7章(2) ベイズの定理 第9回 第7章(3) 確率分布 第10回 質疑応答・中間試験 第11回 第8章(1) 統計的方法 第12回 第8章(2) 母集団と標本について 第13回 第8章(3) 統計的データ 第14回 第8章(4) 推測統計とその考え方 第15回 質疑応答・期末試験</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義。
評価方法 Evaluation	試験と出席(中間と期末)。
履修上の注意 Requirements and policy	私語厳禁。
教科書 Textbook(s)	<p>教科書の購入は不要 授業時にプリントを配布します。</p> <p>小野寺孝義・狩野裕 『文科系の学生のための数学入門2』 (ナカニシヤ出版) ISBN: 4-88848-743-X</p>
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	国際キャリア特論B (国際秘書概論)						
担当教員	嶽 麻美						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	国際社会、情報社会で国際秘書として必要な知識と実務能力の習得 (応用編) 後期の授業では、国際秘書に関する専門知識と実務能力について分かりやすく解説する — 国際化社会、情報化社会の中で変化するビジネス環境、企業組織において、国際秘書として効果的な役割を果たすために必要な職能、資質、知識、技能などについて学習し、必要な専門的知識と実務能力の習得を目指す。国際秘書の職務に関連する分野はきわめて広範囲にわたるが、特に有効と思われる内容を精選し、できる限り具体例とともに学習する。—
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：国際秘書について 2. 国際秘書の国際経営への理解 3. 国際秘書に必要な商取引、貿易取引についての知識 4. 国際秘書に必要な法制度、規制についての知識 5. 国際秘書のコンプライアンスへの対応 6. 国際企業のリスク管理への対応 7. 国際秘書の外部メディアへの対応 8. 国際秘書の情報収集能力と情報倫理への対応 9. 国際秘書の事務管理能力 10. 国際秘書に必要な海外事情 11. 国際秘書に必要な国際関係についての知識 12. 国際秘書に必要な経済、金融についての知識 13. 国際秘書に必要な異文化理解 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	定期試験 (70%)、平常点 (30%) の総合評価。
履修上の注意 Requirements and policy	出席・授業参加度を重視する。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布する。
参考書 Reference(s)	授業中に提示する。
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	国際キャリア特論B (国際秘書概論)						
担当教員	嶽 麻美						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>国際社会、情報社会で国際秘書として必要な知識と実務能力の習得 (応用編) 後期の授業では、国際秘書に関する専門知識と実務能力について分かりやすく解説する — 国際化社会、情報化社会の中で変化するビジネス環境、企業組織において、国際秘書として効果的な役割を果たすために必要な職能、資質、知識、技能などについて学習し、必要な専門的知識と実務能力の習得を目指す。国際秘書の職務に関連する分野はきわめて広範囲にわたるが、特に有効と思われる内容を精選し、できる限り具体例とともに学習する。—</p>						
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：国際秘書について 2. 国際秘書の国際経営への理解 3. 国際秘書に必要な商取引、貿易取引についての知識 4. 国際秘書に必要な法制度、規制についての知識 5. 国際秘書のコンプライアンスへの対応 6. 国際企業のリスク管理への対応 7. 国際秘書の外部メディアへの対応 8. 国際秘書の情報収集能力と情報倫理への対応 9. 国際秘書の事務管理能力 10. 国際秘書に必要な海外事情 11. 国際秘書に必要な国際関係についての知識 12. 国際秘書に必要な経済、金融についての知識 13. 国際秘書に必要な異文化理解 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	講義						
評価方法 Evaluation	定期試験 (70%)、平常点 (30%) の総合評価。						
履修上の注意 Requirements and policy	出席・授業参加度を重視する。						
教科書 Textbook(s)	プリントを配布する。						
参考書 Reference(s)	授業中に提示する。						
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	国際キャリア特論B (国際ビジネスコミュニケーション)						
担当教員	平井 拓己						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	本講義では、前期に引き続き(1)国際ビジネスを遂行するためのコミュニケーション能力についての基礎的な知識と実践能力、および(2)企業活動を理解する上で最低限必要な経済・経営に関する知識の習得、を目標とする。特に後期は、前期に習得した知識を用いながら、ビジネスにおける異文化コミュニケーションの応用に関して、さらに個別のテーマを掘り下げて扱う。前期と同様、身近な企業事例を用いる。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション・復習：国際ビジネスにおける異文化コミュニケーション 2 世界経済のグローバル化と企業 3 企業活動の側面とコミュニケーション 4 企業における異文化コミュニケーションの実例：商習慣 5 企業における異文化コミュニケーションの実例：政治体制 6 企業における異文化コミュニケーションの実例：知的財産権 7 企業における異文化コミュニケーションの実例：労務問題 8 企業の対外コミュニケーション(1) 9 企業の対外コミュニケーション(2) 10 国際機関における異文化コミュニケーション(1) 11 国際機関における異文化コミュニケーション(2) 12 異文化摩擦を防ぐために：言語コミュニケーション 13 異文化摩擦を防ぐために：非言語コミュニケーション 14 異文化摩擦の要因と対応 15 まとめ
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義 (毎回、講義資料とともに提出用紙を配布しますので、授業の最後に出す課題を提出して頂きます。提出をもって出席にかえます。)
評価方法 Evaluation	講義への出席(毎回提出物があります)及び試験によって評価します。
履修上の注意 Requirements and policy	講義中の携帯電話などの使用は厳禁とします。 教室内では帽子を脱いで下さい。 以上守っていただけない場合は、退出していただきます。
教科書 Textbook(s)	なし(資料を配付します)
参考書 Reference(s)	講義中に必要に応じて指定します。
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	国際キャリア特論B (国際ビジネスコミュニケーション)						
担当教員	平井 拓己						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	本講義では、前期に引き続き(1)国際ビジネスを遂行するためのコミュニケーション能力についての基礎的な知識と実践能力、および(2)企業活動を理解する上で最低限必要な経済・経営に関する知識の習得、を目標とする。特に後期は、前期に習得した知識を用いながら、ビジネスにおける異文化コミュニケーションの応用に関して、さらに個別のテーマを掘り下げて扱う。前期と同様、身近な企業事例を用いる。						
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション・復習：国際ビジネスにおける異文化コミュニケーション 2 世界経済のグローバル化と企業 3 企業活動の側面とコミュニケーション 4 企業における異文化コミュニケーションの実例：商習慣 5 企業における異文化コミュニケーションの実例：政治体制 6 企業における異文化コミュニケーションの実例：知的財産権 7 企業における異文化コミュニケーションの実例：労務問題 8 企業の対外コミュニケーション(1) 9 企業の対外コミュニケーション(2) 10 国際機関における異文化コミュニケーション(1) 11 国際機関における異文化コミュニケーション(2) 12 異文化摩擦を防ぐために：言語コミュニケーション 13 異文化摩擦を防ぐために：非言語コミュニケーション 14 異文化摩擦の要因と対応 15 まとめ 						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	講義 (毎回、講義資料とともに提出用紙を配布しますので、授業の最後に出す課題を提出して頂きます。提出をもって出席にかえます。)						
評価方法 Evaluation	講義への出席(毎回提出物があります)及び試験によって評価します。						
履修上の注意 Requirements and policy	講義中の携帯電話などの使用は厳禁とします。 教室内では帽子を脱いで下さい。 以上守っていただけない場合は、退出していただきます。						
教科書 Textbook(s)	なし(資料を配付します)						
参考書 Reference(s)	講義中に必要に応じて指定します。						
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	国際企業経営論B						
担当教員	朴 熙成						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>グローバル化、ポーダレス化が進むにつれて、国際経営の研究範囲は多岐に渡っている。否応なしに世界経済の動向、地域経済の動向に対する洞察力をも要求する時代になっている。</p> <p>このような状況を考慮し、本講義では、第一にグローバル経営のロジックを明らかにする。次にグローバル経営における日本企業の諸活動を捉える。最後にサービス企業のグローバル経営を明らかにする。</p> <p>一連の学習を通じて、国際経営の現実の動きや成果、課題などを考察ため、事例研究を交えながら検討していく。</p>
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル企業の研究開発 2. グローバル企業の人的資源管理 3. グローバル企業の戦略的提携 I 4. グローバル企業の戦略的提携 II 5. グローバル企業と国家 6. サービス産業のグローバル化 I 7. サービス産業のグローバル化 II 8. 小売業のグローバル化 I 9. 小売業のグローバル化 II 10. ホテル産業のグローバル化 11. コンサルティング産業のグローバル化 12. 映画産業のグローバル化 13. グローバル企業のコーポレート・ガバナンス 14. トランスナショナル経営、メタナショナル経営 15. 総括ならびにテスト
参照URL Referance URL (s)	
授業方法 Class type	講義形式である。
評価方法 Evaluation	出席20%、テスト80% 合計100%
履修上の注意 Requirements and policy	多岐に渡る内容なので、できる限りする全回出席すること。経営に関することに興味をもってもらうために日経新聞を読むこと。
教科書 Textbook (s)	『新グローバル化経営論』 安室憲一編著 白桃書房
参考書 Reference (s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントB						
担当教員	朴 熙成						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	国際ビジネスをはじめて学ぶ学生のために、国際ビジネスの歴史、理論、戦略、組織、人事などの諸問題を概説する。 近年の激動する国際環境のトレンドを踏まえながら、国際ビジネス活動の最新のテーマを取り上げる。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多国籍企業のCSRと企業倫理 2. グローバル・イノベーション戦略Ⅰ 3. グローバル・イノベーション戦略Ⅱ 4. グローバル・アライアンス戦略Ⅰ 5. グローバル・アライアンス戦略Ⅱ 6. リージョナル・マネジメント戦略 7. グローバル・マーケティング戦略 8. 多国籍企業の組織戦略 9. 国際人的資源管理戦略 10. 異文化マネジメント戦略 11. 欧米の多国籍企業 12. アジア新興市場とアジア新興多国籍企業 13. グローバル・サービス・ビジネスの新展開 14. 国際ビジネスの今後の展開 15. 総括ならびにテスト
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義形式である。
評価方法 Evaluation	出席20%、テスト80% 合計100%
履修上の注意 Requirements and policy	就職活動の際にも役立つ内容なので、できる限りする全回出席すること。経営に関することに興味をもってもらうために日経新聞を読むこと。
教科書 Textbook(s)	『シリーズ国際ビジネス/1 国際ビジネス入門』 江夏健一/太田正孝/藤井健著 中央経済出版社
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	安藤 裕子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Businessの国際化に伴い、日常のあらゆる場面で海外の人々に接する機会が多くなりました。一言に海外といっても、欧米のみならず、アジア・アフリカ・中東・ラテン系諸国等、さまざまです。国が違えば習慣などもおのずから異なり、それぞれにふさわしい対応が求められます。このコースでは、マナーとは何か、という基本的な考え方から始まり、社会人になる前に最低限身につけておくべき事柄や、海外の国々の文化、価値観の違いなどを学び、さらに、状況に応じた適切なコミュニケーションが取れる英会話力も磨いて、日本をはじめ、海外のあらゆる人々と良い人間関係が築ける人材の育成を目指します。
授業計画 Syllabus	1. Etiquette、MannerとProtocol 2. マナー 実践の基本 3. 紹介・挨拶 4. 名刺 5. コミュニケーションのマナー 6. レディーファースト・贈り物のマナー 7. レストランのマナー 8. テーブルマナー 1 9. テーブルマナー 2 10. ワインとマナー 11. パーティー Formal party 12. ホームパーティー への招待 13. ホテルとマナー 13. 贈り物 14. 宗教とマナー (イスラム教・ユダヤ教) 15. 国際儀礼 (服装・国旗・席次)
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義形式にて行います
評価方法 Evaluation	試験80%、出席20% にて評価
履修上の注意 Requirements and policy	毎回、Topicが変わります。欠席するとそのTopicに関しては内容がわからなくなるので、きちんと出席されるよう望みます。サービス業界志望者だけでなく、マナーについてきちんとした知識を身につけたい方はぜひ、受講なさってください。
教科書 Textbook(s)	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	安藤 裕子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Businessの国際化に伴い、日常のあらゆる場面で海外の人々に接する機会が多くなりました。一言に海外といっても、欧米のみならず、アジア・アフリカ・中東・ラテン系諸国等、さまざまです。国が違えば習慣などもおのずから異なり、それぞれにふさわしい対応が求められます。このコースでは、マナーとは何か、という基本的な考え方から始まり、社会人になる前に最低限身につけておくべき事柄や、海外の国々の文化、価値観の違いなどを学び、さらに、状況に応じた適切なコミュニケーションが取れる英会話力も磨いて、日本をはじめ、海外のあらゆる人々と良い人間関係が築ける人材の育成を目指します。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Etiquette、MannerとProtocol 2. マナー 実践の基本 3. 紹介・挨拶 4. 名刺 5. コミュニケーションのマナー 6. レディーファースト・贈り物のマナー 7. レストランのマナー 8. テーブルマナー 1 9. テーブルマナー 2 10. ワインとマナー 11. パーティー Formal party 12. ホームパーティー への招待 13. ホテルとマナー 13. 贈り物 14. 宗教とマナー (イスラム教・ユダヤ教) 15. 国際儀礼 (服装・国旗・席次)
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義形式にて行います
評価方法 Evaluation	試験80%、出席20% にて評価
履修上の注意 Requirements and policy	毎回、Topicが変わります。欠席するとそのTopicに関しては内容がわからなくなるので、きちんと出席されるよう望みます。サービス業界志望者だけでなく、マナーについてきちんとした知識を身につけたい方はぜひ、受講なさってください。
教科書 Textbook(s)	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	情報処理資格養成講座B						
担当教員	松井 理直						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜5	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	授業の目的、概要マイクロソフトExcelの関数に関して、情報処理資格養成講座Aで学んだ内容を基礎としてさらに高度な内容を講義する。また、本講義の受講のみで情報処理資格が取得できるものではないことに注意すること。
授業計画 Syllabus	第1回 ガイダンス 第2回 ソートの概念 第3回 ソートの演習 第4回 条件付きの関数（IF系） 第5回 IF文を用いた演習 第6回 データの種類とグラフを用いた視覚化 第7回 グラフを使いこなす 第8回 グラフの演習 第9回 条件付き書式について 第10回 条件付き書式の演習 第11回 ピボットテーブルを使いこなす 第12回 ピボットテーブルの演習(2) 第13回 ピボットテーブルの演習(2) 第14回 ビジネスデータを処理してみる 第15回 同上
参照URL Referance URL(s)	授業中に伝達します。
授業方法 Class type	講義と演習の両形式
評価方法 Evaluation	出席回数、時間中の小テスト、および各学期末の試験
履修上の注意 Requirements and policy	ブラインドタッチができることが前提です。ブラインドタッチのできない人は他の授業を受講してください。また、遅刻および授業中の私語にはペナルティを課します。3回のペナルティで単位取得の権利を失います。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	授業中に紹介します。
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理B/Computer and Ethics B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>・情報社会を積極的に生きよう インターネット上で提供されている、知的生活に役立つサービスや情報などを紹介し、その活用方法や問題点などについて見ていきます。</p> <p>特に前半では Google に注目し、その歴史、ここが提供しているサービスの内容、企業としてこの会社がどうやってなりたっているのか、などを調べます。</p> <p>次にブログ、ツイッター、ポッドキャストなどインターネット上のメディアについて見ていきます。</p> <p>更に、アメリカ最大のSNS MySpace の実態とその子どもへの影響などについて考えます。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>Week 1: 授業の内容、方法、評価方法など</p> <p>Week 2: Google: その歴史、サーチ・エンジンの特徴</p> <p>Week 3: Google: さまざまなサービス、企業としての Google</p> <p>Week 4: Google: Cloud computing</p> <p>Week 5: Google vs. Yahoo!</p> <p>Week 6: ブログについて (1)</p> <p>Week 7: ブログについて (2)</p> <p>Week 8: Twitter</p> <p>Week 9: Podcasting (1)</p> <p>Week 10: Podcasting (2)</p> <p>Week 11: SNS: MySpace (1)</p> <p>Week 12: SNS: MySpace (2)</p> <p>Week 13: SNS MySpace (3)</p> <p>Week 14: 復習と復習テスト</p> <p>Week 15: テスト返却と講評</p>						
参照URL Referance URL(s)	<p>昨年のこの授業の内容は http://banjo.shoin.ac.jp/~gauchi/class/2009/Tue2/ で見ることができます。</p>						
授業方法 Class type	授業ごとにクイズ（小テスト）をします。小テストと期末テストを合わせて評価します。						
評価方法 Evaluation	授業ごとにクイズ（小テスト）をします。小テストと期末テストを合わせて評価します。						

履修上の注意 Requirements and policy	・前の授業で配布されたプリントを持たずに出席することはできません。 ・小テストの成績が50%に満たない人は期末テストの受験を認めません。 ・この授業は日常的にコンピュータやネットワークを利用している人、利用しようと思っ ている人におすすめです。
教科書 Textbook(s)	プリントを使います。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	時事英語B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	時事英語Aと同様に、特定の教科書は用いず、時々話題性に富んだ新聞記事を選んで読みます。政治、経済から文化、スポーツ、事件、教育など様々な分野を扱い、新しい語や表現を学びます。
授業計画 Syllabus	第1回 新聞記事の読解と解説(1) 第2回 新聞記事の読解と解説(2) 第3回 新聞記事の読解と解説(3) 第4回 新聞記事の読解と解説(4) 第5回 新聞記事の読解と解説(5) 第6回 新聞記事の読解と解説(6) 第7回 新聞記事の読解と解説(7) 第8回 新聞記事の読解と解説(8) 第9回 新聞記事の読解と解説(9) 第10回 新聞記事の読解と解説(10) 第11回 新聞記事の読解と解説(11) 第12回 新聞記事の読解と解説(12) 第13回 新聞記事の読解と解説(13) 第14回 新聞記事の読解と解説(14) 第15回 新聞記事の読解と解説(15)
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	新聞記事の読解と解説。学生による訳読の発表。
評価方法 Evaluation	試験(70%)、小テスト(10%)、出席(20%)で評価を算出します。
履修上の注意 Requirements and policy	出席を重視します。しっかり予習して授業に臨んでください。欠席、私語は減点の対象となります。2/3以上の出席が単位認定には必要です。遅刻は欠席扱いとします。
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	人工知能B						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>人間の知能とは何か、コンピュータとの違いは何かについて考える。</p> <p>映画『Bicentennial Man』に見るような、人間と区別のつかない人工知能はまだ存在しないが、最近、コンピュータはますます賢くなってきている。でも、まだまだ人間とは大きく違うようにも思われる。この授業では、コンピュータが「知的」とあるとはどういうことかを考え、見かけだけでも「賢く」見せるための基本的なテクニックにはどのようなものがあるかを概説するとともに、その限界についても考える。</p> <p>後期は、前期の理論を踏まえて、簡単なプログラムで一見知的なふるまいを実現する「人工無脳」プログラムを実際に動かしてみて、人間と機械の差をあらためて実感することにしたい。</p> <p>最後に、哲学的・社会的な側面についても考える。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>以下は大体の日程。より詳しくは、授業開始後、 http://sils.shoin.ac.jp/~gunji/THU2/ を見ること。 (シラバス印刷用: http://sils.shoin.ac.jp/~gunji/THU2/thu2b.pdf)</p> <p>第1回 概要; 映画『Bicentennial Man』を見る: ロボットにできること、できないこと (1) 第2回 映画『Bicentennial Man』を見る: ロボットにできること、できないこと (2) 第3回 『恋するプログラム』より「人工無脳」を動かしてみる (1) 第4回 『恋するプログラム』より「人工無脳」を動かしてみる (2) 第5回 『恋するプログラム』より「人工無脳」を動かしてみる (3) 第6回 『恋するプログラム』より「人工無脳」を動かしてみる (4) 第7回 『恋するプログラム』より「人工無脳」を動かしてみる (5) 第8回 『恋するプログラム』より「人工無脳」を動かしてみる (6) 第9回 『恋するプログラム』より「人工無脳」を動かしてみる (7) 第10回 コンピュータビジョン (1): Escher の世界 第11回 コンピュータビジョン (2): 裸眼立体写真 第12回 ロボット: ASIMO, AIBO(実物) 第13回 心のモデル、心の理論 第14回 哲学的・社会的問題: 中国語の部屋 第15回 後期のまとめ</p>						
参照URL Reference URL(s)	http://sils.shoin.ac.jp/~gunji/AI/						
授業方法 Class type	この授業に数学的な知識や理科系の科目の経験は必要としない。まず、映画『Bicentennial Man』などでとりあげられた、コンピュータ、人工知能、ロボットなどをよく観察し、コンピュータにもできることは何かを考え、推論、探索、学習、言語理解、ゲーム、ロボットなど、人工知能の技法がさまざまな応用領域にどのように適用されるかを見ていくとともに、実際に「人工無脳プログラム」にさわってみて動きを見る。						
評価方法 Evaluation	授業中に何度か課題を出す。これはすべて提出することが義務。 おおむね、出席点 30~40%、授業中の課題 60~70% の割合で成績をつける。 前半で出席率が極端に悪い人は、単位を必要としないものと判断することもあるので要注意。						
履修上の注意 Requirements and policy	コンピュータ教室の授業なので、授業に関係ないことを授業中にしないこと。 この授業用の web site を頻りにチェックすること。 欠席の場合は自習して追いついておくこと。 課題の提出もれがないように気をつけること。						

教科書 Textbook (s)	なし。必要な教材は授業中に指示する。
参考書 Reference (s)	Janet Finlay & Alan Dix, An Introduction to Artificial Intelligence, UCL Press, 1996, (J. フィンレー, A. ディックス 著, 『人工知能入門』新田克己・片上大輔 訳 (サイエンス社)). 秋山智俊 著『恋するプログラム Ruby でつくる人工無脳』(毎日コミュニケーションズ), 2005.
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	スタディスキルB／Study Skills B						
担当教員	R. St. Pierre						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2～4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	
授業計画 Syllabus	
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	
評価方法 Evaluation	
履修上の注意 Requirements and policy	
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育研究B						
担当教員	濱本 秀樹						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	小学校、幼稚園などで英語を教えることのできる能力を養成します。
授業計画 Syllabus	(1) 早期英語教育の概要 (2) listen and learn 3 (前期に引き続き実施します) (3) listen and learn 4 (4) make and learn 3 (5) make and learn 4 (6) move and learn 3 (7) move and learn 4 (8) speak and learn 3 (9) speak and learn 4 (10) read and learn 3 (11) read and learn 4 (12) 模擬授業シラバス作成3 (13) 模擬授業シラバス作成4 (14) まとめ (15) 模擬授業と試験
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	毎回の授業内容に関する小テスト実施。実技の練習。
評価方法 Evaluation	小テスト20% 実技試験30% 定期試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	通年履修を原則とする。
教科書 Textbook(s)	English for Primary Teachers Slattery & Willis, Oxford University Press.
参考書 Reference(s)	英語ノート1, 2 (文部科学省)
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育特論B						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>児童/早期英語教育音声表現法/フォニックス入門B 早期英語教育特論Aで学んだ発音に次第に慣れながら教科書をすべてカバーして早期英語教育音声表現法入門を完了する。</p> <p>日本語教授法と共通点が多く将来の可能性に幅が出来る履修生達は日本語教授法の履修を薦めている。 ダイヤ印の項目を念頭に置きながらシラバスに従って習得します。ゲスト・スピーカーを招くことも考えています。</p> <p>◇ 発音習得のコツの一つは同化現象：あなたは天満（てんま）をどのようにローマ字で表記しますか。「んま」の箇所をどのように発音していますか。「ん」は両唇を閉じて発音する「ま」の影響を受けて発音しています。これを「同化現象」と呼びます。英語でも“did you, comfortable, on the desk”等の下線部分で同じ現象が起こります。</p> <p>◇ Liaison: This is an apple. では単語間の音を続けて発音します。最後はnappleとなります。</p> <p>◇ Aspiration pen, cake, teaのp, t, kではロウソクの炎が消える程の息が出ます。</p> <p>◇ Alveolars: garden, little, のden, tleでは一度も舌先を歯茎から離さずに、グッと舌先に力を入れて発音します。</p> <p>◇ Woman, Woods等 / w/ + /u/のコンビネーションはwが一番小さく丸く、uは少し開けて発音します。日本語のウーとは逆の開け方です。</p>
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本の強化をしてレベルアップをめざす。 上記の◇のついているところを集中特訓I 2. 基本の強化と◇の集中特訓II 3. 基本の強化と◇の集中特訓III 4. 母音と子音 (AE p. 10), Game Time (AE p. 12) 上記の◇のついているところを集中特訓 Blue Fish 5. Consonant Digraphs (AE pp. 31-36) 上記の◇のついているところを集中特訓 Blue Fish 6. Consonant Digraphsと◇の集中特訓 Blue Fish 7. Consonant Digraphsと◇の集中特訓 Blue Fishの発表と可能ならVideo撮影 8. Consonant Blends (AE pp. 43-48) Blue Fishの整理I (ストレスを受ける品詞) 9. Consonant Blends Blue Fishの整理II (ストレスを受ける品詞) Endings (AE pp. 55-61) 10. Endings (AE pp. 55-61) 物語: Papa, get the moon for me/The farmer and the beet/The very hungry caterpillar ◇の集中特訓 11. Endingsと◇の集中特訓II

授業計画 Syllabus	<p>12. 復習：定期試験の準備I</p> <p>13. 復習：定期試験の準備II</p> <p>14. 発声準備、既習に項目の質疑応答と定期試験(Paperと録音)</p> <p>15. 定期試験の検討と整理（既習事項の確認をする早期英語教育の基本固めになる時間です。）</p>
参照URL Reference URL(s)	<p>http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html</p> <p>http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/LLT.html</p> <p>http://ksw.shoin.ac.jp/jidoeng/</p>
授業方法 Class type	講義と実践
評価方法 Evaluation	<p>1. 日々のパフォーマンス、自分の発音を録音したテープ提出（欠席が評価に影響します）、ビデオ（時間が許せば）2. 定期試験</p> <p>平常点50%</p> <p>定期試験50%</p>
履修上の注意 Requirements and policy	<p>日々訓練を重ねた後のパフォーマンスや提出するテープが評価に大きな影響を及ぼすので、出席が重要なのは当然である。欠席、遅刻をするとコツを伝授されるチャンスを逃すことになる。授業用と提出用の60分カセットテープ2本を最初の授業に持参のこと。CDやテープを用いて練習してくること。</p>
教科書 Textbook(s)	<p>教科書と過去に用いたハンドアウトや新たに準備するハンドアウトを使用する。</p> <p>松香洋子・宮清子 著 『Active Phonics』（松香フォニックス研究所・正進社）</p>
参考書 Reference(s)	<p>松井千枝 著 『英語音声学』（朝日出版社） 978-4-255-15193-9</p> <p>http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html</p> <p>http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/LLT.html</p>
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	通訳法研究B						
担当教員	清水 陽子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練</p> <p>通訳とはどのような作業を行うのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、などの理解を深めながら、通訳を行う際に求められる要素を紹介しします。授業では実際に通訳者養成のトレーニングを用いて、効果的な英語学習方法を紹介し、実践します。授業は主としてテープを用いて英語のスピーチを日本語に訳出します。英語の運用能力を高めるために、英文記事のサマリー、Q&A、同時通訳の発想による速読法、速訳などの練習も行ないます。各自スピーチを作成してペアを組んだ通訳担当者とのパフォーマンスも行います。</p> <p>前期では入門編とテキスト前半を終えておりますので、後期ではそれを発展させて、フォーマルスピーチにもチャレンジします。</p> <p>前期後期合わせてカリキュラムを構成していますので、前期を履修していることが望ましいですが、後期から初めて履修する人のために簡単な説明と復習を行なってから授業を始めます。</p>
授業計画 Syllabus	<p>1 Unit 8 & 英日ビジネススピーチ</p> <p>2 Unit 8 & 日英ビジネススピーチ</p> <p>3 Unit 9 & フォーマル表現</p> <p>4 Unit 9 & フォーマル表現</p> <p>5 Unit 10 & 司会者の挨拶</p> <p>6 Unit 10 & ゲストの挨拶</p> <p>7 Unit 11 & ニュースの英語</p> <p>8 Unit 12 & 大統領の英語</p> <p>9 Unit 13 & 大統領の英語</p> <p>10 Unit 14 & 同時通訳にチャレンジ</p> <p>11 スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>12 スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>13 スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>14 スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>15 まとめと筆記試験</p>
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	<p>テキストを用いての授業と配布プリントを用いてのトレーニングを合わせて行ないます。LL教室にてヘッドセットを使用してトレーニングをします。各学期末にスピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。</p>
評価方法 Evaluation	<p>毎回の授業中の練習と発表、提出物、学期末試験による総合評価です。出席を重視のため、欠席した場合は減点とします。</p> <p>平常点 20%</p> <p>スピーチ通訳プレゼンテーション 40%</p> <p>期末試験 40%</p>

履修上の注意 Requirements and policy	宿題、予習をしたうえで授業にのぞんで下さい。宿題予習なしには授業に効果的に参加できません。 辞書と60分のカセットテープを毎回持参して下さい。
教科書 Textbook(s)	テキストとプリントを使用 改訂三版 通訳トレーニングコース 著 水野真木子・鍵村和子 (大阪教育図書) ISBN4-271-11300-X
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	通訳法研究B						
担当教員	清水 陽子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練</p> <p>通訳とはどのような作業を行うのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、などの理解を深めながら、通訳を行う際に求められる要素を紹介しします。授業では実際に通訳者養成のトレーニングを用いて、効果的な英語学習方法を紹介し、実践します。授業は主としてテープを用いて英語のスピーチを日本語に訳出します。英語の運用能力を高めるために、英文記事のサマリー、Q&A、同時通訳的発想による速読法、速訳などの練習も行ないます。各自スピーチを作成してペアを組んだ通訳担当者とのパフォーマンスも行います。</p> <p>前期では入門編とテキスト前半を終えておりますので、後期ではそれを発展させて、フォーマルスピーチにもチャレンジします。</p> <p>前期後期合わせてカリキュラムを構成していますので、前期を履修していることが望ましいですが、後期から初めて履修する人のために簡単な説明と復習を行なってから授業を始めます。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>このクラスは前期火曜日2限に引き続きTOEIC450点以上の学生対象です</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Unit 8 & 英日ビジネススピーチ 2 Unit 8 & 日英ビジネススピーチ 3 Unit 9 & フォーマル表現 4 Unit 9 & フォーマル表現 5 Unit 10 & 司会者の挨拶 6 Unit 10 & ゲストの挨拶 7 Unit 11 & ニュースの英語 8 Unit 12 & 大統領の英語 9 Unit 13 & 大統領の英語 10 Unit 14 & 同時通訳にチャレンジ 11 スピーチ通訳プレゼンテーション 12 スピーチ通訳プレゼンテーション 13 スピーチ通訳プレゼンテーション 14 スピーチ通訳プレゼンテーション 15 まとめと筆記試験 						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	<p>テキストを用いての授業と配布プリントを用いてのトレーニングを合わせて行ないます。LL教室にてヘッドセットを使用してトレーニングをします。各学期末にスピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。</p>						

評価方法 Evaluation	毎回の授業中の練習と発表、提出物、学期末試験による総合評価です。 出席を重視のため、欠席した場合は減点とします。 平常点 20% スピーチ通訳プレゼンテーション 40% 期末試験 40%
履修上の注意 Requirements and policy	宿題、予習をしたうえで授業にのぞんで下さい。宿題予習なしには授業に効果的に参加できません。 辞書と60分のカセットテープを毎回持参して下さい。 TOEIC450点以上の学生のみ履修出来ます。
教科書 Textbook(s)	テキストとプリントを使用 改訂三版 通訳トレーニングコース 著 水野真木子・鍵村和子 (大阪教育図書) ISBN4-271-11300-X
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	通訳法研究B						
担当教員	清水 陽子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練</p> <p>通訳とはどのような作業を行うのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、などの理解を深めながら、通訳を行う際に求められる要素を紹介します。授業では実際に通訳者養成のトレーニングを用いて、効果的な英語学習方法を紹介し、実践します。授業は主としてテープを用いて英語のスピーチを日本語に訳出します。英語の運用能力を高めるために、英文記事のサマリー、Q&A、同時通訳の発想による速読法、速訳などの練習も行ないます。各自スピーチを作成してペアを組んだ通訳担当者とのパフォーマンスも行います。</p> <p>前期では入門編とテキスト前半を終えておりますので、後期ではそれを発展させて、フォーマルスピーチにもチャレンジします。</p> <p>前期後期合わせてカリキュラムを構成していますので、前期を履修していることが望ましいですが、後期から初めて履修する人のために簡単な説明と復習を行なってから授業を始めます。</p>
授業計画 Syllabus	<p>1 Unit 8 & 英日ビジネススピーチ</p> <p>2 Unit 8 & 日英ビジネススピーチ</p> <p>3 Unit 9 & フォーマル表現</p> <p>4 Unit 9 & フォーマル表現</p> <p>5 Unit 10 & 司会者の挨拶</p> <p>6 Unit 10 & ゲストの挨拶</p> <p>7 Unit 11 & ニュースの英語</p> <p>8 Unit 12 & 大統領の英語</p> <p>9 Unit 13 & 大統領の英語</p> <p>10 Unit 14 & 同時通訳にチャレンジ</p> <p>11 スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>12 スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>13 スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>14 スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>15 まとめと筆記試験</p>
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	<p>テキストを用いての授業と配布プリントを用いてのトレーニングを合わせて行ないます。LL教室にてヘッドセットを使用してトレーニングをします。各学期末にスピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。</p>
評価方法 Evaluation	<p>毎回の授業中の練習と発表、提出物、学期末試験、通訳プレゼンテーションによる総合評価です。出席を重視のため、欠席した場合は減点とします。</p> <p>平常点 20%</p> <p>スピーチ通訳プレゼンテーション 40%</p> <p>期末試験 40%</p>

履修上の注意 Requirements and policy	宿題、予習をしたうえで授業にのぞんで下さい。宿題予習なしには授業に効果的に参加できません。 辞書と60分のカセットテープを毎回持参して下さい。
教科書 Textbook(s)	テキストとプリントを使用 改訂三版 通訳トレーニングコース 著 水野真木子・鍵村和子 (大阪教育図書) ISBN4-271-11300-X
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	通訳法研究B						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>二者間で情報が正しく伝達されるための、手段としての通訳法研究 双方に情報を正確に伝達するためには4技能のみならず、世間に広く目を向け、異文化を理解する態度を養うことが大切です。 この授業では暗誦と反復練習を通して語彙の増加を中心に、知識・教養を深めます。 また英語の運用能力の向上のためにペアワーク、グループワークを課して使える技能を磨きます。</p>
授業計画 Syllabus	<p>前期から引き続いての計画です。 (全回共通して) ・5分間TOEIC準拠のリスニングテスト ・5分間TOEIC解説 ・5分間テキスト準拠の発語テスト</p> <p>後期はテキストchapter 11-20、および配布教材を活用します 1. Overall revision 2. chapter 11Healthy drink: 身近な健康飲料からの考察 3. chapter 12Food myths: 迷信と事実の認識 4. chapter 13+14 Beta-carotene power: 食材と栄養の表現 5. chapter 15Fast & fast, tan & burn: 英語表現の深さ 6. Students Presentation 7. chapter 16Fibre: 食育表現 8. chapter 17Healthy places to live: 健康に留意するとは 9. chapter 18+19Treatment & Exercise: 知識を具体例に結びつける 10. Students Presentation 11. chapter 20Long-life Insurance: 今後への考察 12. Original handout表現のまとめ: 日英比較 13. Students Interpretation Presentation 14. Students Interpretation Presentation 15. Revision</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	音読、リスニング練習、逐次訳練習
評価方法 Evaluation	平常：定期試験＝7：3
履修上の注意 Requirements and policy	出席重視、予習の徹底を重視します。 積み重ねが重要ですので、全出席の心構えで臨むこと。熱意と誠意に欠ける学生は歓迎しません。
教科書 Textbook(s)	Healthy Living (南雲堂) 瀬谷幸男他著 ISBN4-523-18512-3 配布資料+BBC/CNN等のニュースウェブサイト
参考書 Reference(s)	授業中に紹介します
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	通訳法研究B						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>二者間で情報が正しく伝達されるための、手段としての通訳法研究 双方に情報を正確に伝達するためには4技能のみならず、世間に広く目を向け、異文化を理解する態度を養うことが大切です。 この授業では暗誦と反復練習を通して語彙の増加を中心に、知識・教養を深めます。 また英語の運用能力の向上のためにペアワーク、グループワークを課して使える技能を磨きます。</p>
授業計画 Syllabus	<p>前期から引き続いての計画です。 (全回共通して) ・5分間TOEIC準拠のリスニングテスト ・5分間TOEIC解説 ・5分間テキスト準拠の発語テスト</p> <p>後期はテキストchapter 11-20、および配布教材を活用します 1. Overall revision 2. chapter 11Healthy drink: 身近な健康飲料からの考察 3. chapter 12Food myths: 迷信と事実の認識 4. chapter 13+14 Beta-carotene power: 食材と栄養の表現 5. chapter 15Fast & fast, tan & burn: 英語表現の深さ 6. Students Presentation 7. chapter 16Fibre: 食育表現 8. chapter 17Healthy places to live: 健康に留意するとは 9. chapter 18+19Treatment & Exercise: 知識を具体例に結びつける 10. Students Presentation 11. chapter 20Long-life Insurance: 今後への考察 12. Original handout表現のまとめ: 日英比較 13. Students Interpretation Presentation 14. Students Interpretation Presentation 15. Revision</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	音読、リスニング練習、逐次訳練習
評価方法 Evaluation	平常：定期試験＝7：3
履修上の注意 Requirements and policy	出席重視、予習の徹底を重視します。 積み重ねが重要ですので、全出席の心構えで臨むこと。熱意と誠意に欠ける学生は歓迎しません。
教科書 Textbook(s)	Healthy Living (南雲堂) 瀬谷幸男他著 ISBN4-523-18512-3 配布資料+BBC/CNN等のニュースウェブサイト
参考書 Reference(s)	授業中に紹介します
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	ディベート イン イングリッシュB/Debating in English B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course will be building on the skills learned in Debating in English A. Students will further develop their critical thinking skills through discussing solutions to current issues in society. They will also be practicing their debating skills.						
授業計画 Syllabus	Lesson 16 Unit 11 - Overtime work Lesson 17 Unit 12 - Golden Parachute Lesson 18 Unit 13 - Doctors for the countryside Lesson 19 Unit 14 - Marginal communities Lesson 20 Unit 15 - Value of one vote Lesson 21 Unit 16 - Rubbish disposal Lesson 22 Class debate preparation Lesson 23 Class debate Lesson 24 Unit 17 - Road construction Lesson 25 Unit 18 - Alternative energies Lesson 26 Unit 19 - Cell phones Lesson 27 Unit 20 - School Curricula Lesson 28 Unit 21 - National Scholastic tests Lesson 29 Class debate preparation Lesson 30 Class debate						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	Lecture. Classes will focus on both language and debating skills and will include reading, listening and discussion. Current issues will be explored. Pair work and group work will be an important part of this course.						
評価方法 Evaluation	Grades will be based on attendance, class participation, quizzes, assignments and debating skills. Class participation = 40% Assignments and debates = 40% Quizzes = 20%						
履修上の注意 Requirements and policy	Students must attend at least 75% of all classes and will be expected to speak in English during classes. In order to pass this course they must also be present for and participate actively in the mid-semester and end-of-semester class debates.						
教科書 Textbook(s)	'Solutions' by Shawn Clankie, Yuki Maekawa, Masanobu Nakatsugawa and Tomohiro Endo. Published by Cengage Learning Student Book ISBN : 978-4-86312-103-4						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	朴 熙成						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>バイリンガルオフィスワークは、企業で仕事をして行く上で必要となる初歩的な専門知識を学ぶための授業である。</p> <p>最近の企業は、入社してすぐに仕事ができる人材（即戦力を持った人材）を必要としている。</p> <p>この授業での演習は、そのような企業のニーズに応えるものであり、実際の仕事や就職の面接の時に役立つものである。</p> <p>ビジネスにおける人間関係、業務、社交などに関することを中心に学習する。</p>						
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Top jobs 仕事の優先順位 2. Receiving Visitors 顧客対応について 3. Arriving as a visitor 訪問について 4. Business Travel 出張業務 5. ロールプレイング 6. Writing application letters 7. Job interviews 8. Time management タイムマネジメント 9. Working condition 10. 中間テスト 11. Dealing with e-mail messages メール業務 12. Making offers and requests 13. Ordering by on line 14. Eating out with clients 顧客接待 15. 総括ならびに期末テスト 						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	ロールプレイング、テスト、課題を課すことなどを予定している。						
評価方法 Evaluation	出席20%、テスト50%、演習ならびに授業参加態度30%（合計100%）						
履修上の注意 Requirements and policy	日本語や英語でロールプレイができること。課題でビジネス文書の作成を行うため、ワードやエクセルができること。辞書持参のこと。						
教科書 Textbook(s)	『In Company』 pre-intermediate MACMILLAN ENGLISH						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	朴 熙成						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>バイリンガルオフィスワークは、企業で仕事をして行く上で必要となる初歩的な専門知識を学ぶための授業である。 最近の企業は、入社してすぐに仕事ができる人材（即戦力を持った人材）を必要としている。 この授業での演習は、そのような企業のニーズに応えるものであり、実際の仕事や就職の面接の時に役立つものである。 ビジネスにおける人間関係、業務、社交などに関することを中心に学習する。</p>						
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Top jobs 仕事の優先順位 2. Receiving Visitors 顧客対応について 3. Arriving as a visitor 訪問について 4. Business Travel 出張業務 5. ロールプレイング 6. Writing application letters 7. Job interviews 8. Time management タイムマネジメント 9. Working condition 10. 中間テスト 11. Dealing with e-mail messages メール業務 12. Making offers and requests 13. Ordering by on line 14. Eating out with clients 顧客接待 15. 総括ならびに期末テスト 						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	ロールプレイング、テスト、課題を課すことなどを予定している。						
評価方法 Evaluation	出席20%、テスト50%、演習ならびに授業参加態度30%（合計100%）						
履修上の注意 Requirements and policy	日本語や英語でロールプレイができること。課題でビジネス文書の作成を行うため、ワードやエクセルができること。辞書持参のこと。TOEIC380点以上の学生のみ履修可能。						
教科書 Textbook(s)	『In Company』 pre-intermediate MACMILLAN ENGLISH						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	朴 熙成						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>バイリンガルオフィスワークは、企業で仕事をして行く上で必要となる初歩的な専門知識を学ぶための授業である。 最近の企業は、入社してすぐに仕事ができる人材（即戦力を持った人材）を必要としている。 この授業での演習は、そのような企業のニーズに応えるものであり、実際の仕事や就職の面接の時に役立つものである。 ビジネスにおける人間関係、業務、社交などに関することを中心に学習する。</p>						
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Top jobs 仕事の優先順位 2. Receiving Visitors 顧客対応について 3. Arriving as a visitor 訪問について 4. Business Travel 出張業務 5. ロールプレイング 6. Writing application letters 7. Job interviews 8. Time management タイムマネジメント 9. Working condition 10. 中間テスト 11. Dealing with e-mail messages メール業務 12. Making offers and requests 13. Ordering by on line 14. Eating out with clients 顧客接待 15. 総括ならびに期末テスト 						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	ロールプレイング、テスト、課題を課すことなどを予定している。						
評価方法 Evaluation	出席20%、テスト50%、演習ならびに授業参加態度30%（合計100%）						
履修上の注意 Requirements and policy	日本語や英語でロールプレイができること。課題でビジネス文書の作成を行うため、ワードやエクセルができること。辞書持参のこと。TOEIC380点以上の学生のみ履修可能。						
教科書 Textbook(s)	『In Company』 pre-intermediate MACMILLAN ENGLISH						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	前川 昌子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	空港、ホテル、銀行、商社など様々な国際的シーンで活躍する秘書やオフィスワーカーに求められる基本的な知識や技術を学び、それらの業務を日英二ヶ国語で実践できるように演習を行う。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション, 秘書の役割と仕事 2. 会議と会合 3. 法的業務 4. 会計業務, 通信業務 5. 慶弔業務の要件 6. 慶弔業務ケーススタディ 7. 文書実務の要件 (1) 8. 文書実務ケーススタディ (1) 9. 文書実務の要件 (2) 10. 文書実務ケーススタディ (2) 11. ポートフォリオ準備, 目次作成 12. ファイリング (1) 13. ファイリング (2) 14. イン・バスケット, まとめ 15. 質疑応答, 期末試験
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	筆記試験 (50%), 平常点: 提出物, ロールプレイ, 出欠・遅刻, 授業態度など (50%)
履修上の注意 Requirements and policy	実践的な授業のため, 毎回出席することを前提とする。 やむを得ない理由による欠席の場合でも, 「報告」を必要とする。 ビジネスマナーを学ぶ機会としてほしい。
教科書 Textbook(s)	『全訂新版 秘書実務 —実務マニュアル—』 田中篤子編著, 嵯峨野書院 ISBN 978-4-7823-0353-5
参考書 Reference(s)	『オフィスでつかう「ことば」と「文書」』 西澤真紀子・前川昌子他著 日本経営協会総合研究所 ISBN 4-8186-1535-8 その他, 授業中に紹介する。
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	前川 昌子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	空港、ホテル、銀行、商社など様々な国際的シーンで活躍する秘書やオフィスワーカーに求められる基本的な知識や技術を学び、それらの業務を日英二ヶ国語で実践できるように演習を行う。						
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書の役割と仕事 2. 会議と会合 3. 法的業務 4. 会計業務、通信業務 5. 慶弔業務の要件 6. 慶弔業務ケーススタディ 7. 文書実務の要件（1） 8. 文書実務ケーススタディ（1） 9. 文書実務の要件（2） 10. 文書実務ケーススタディ（2） 11. ポートフォリオ準備、目次作成 12. ファイリング（1） 13. ファイリング（2） 14. イン・バスケット、まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	演習						
評価方法 Evaluation	筆記試験（50%）、平常点：提出物、ロールプレイ、出欠・遅刻、授業態度など（50%）						
履修上の注意 Requirements and policy	実践的な授業のため、毎回出席することを前提とする。 やむを得ない理由による欠席の場合でも、「報告」を必要とする。 ビジネスマナーを学ぶ機械としてほしい。						
教科書 Textbook(s)	『全訂新版 秘書実務—実務マニュアル—』 田中篤子編著、嵯峨野書院 ISBN978-4-7823-0353-5						
参考書 Reference(s)	『オフィスでつかう「ことば」と「文書」』 西澤真紀子・前川昌子他著 日本経営協会総合研究所 ISBN4-8186-1535-8 その他、授業中に紹介する。						
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	パブリックスピーキングB/Public speaking B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>This course will build on the skills learned in Public Speaking A but the focus will be on giving a speech in public. We will look at the organization of a formal speech and the rhetorical and oratorical skills needed for a presentation in front of an audience. The main project will be a speech for the class contest in December from which students will be selected for the Kobe Shoin annual speech contest.</p> <p>There will be work on pronunciation and performance skills throughout the course.</p>						
授業計画 Syllabus	<p>16- 17 Voice work - reading aloud / Voice Inflection 18 - 21 Speech writing 22 Class speech contest 23 - 24 Using visual aids 25 Presentation using a visual aid 26 - 27 Impromptu Speeches 28 - 29 Preparation for final presentations 30 Final Presentations</p>						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	Lecture. Workshop class with teacher explanation and student presentations.						
評価方法 Evaluation	<p>Assessment will be made on the basis of presentations made in class, recordings made out of class, class participation, a class speech contest and a final presentation.</p> <p>Class participation = 40% Assignments and recordings = 10% Class speech contest = 30% Final presentation = 20%</p>						
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance, active class participation and successful completion of assignments and presentations are all essential for passing the course.						
教科書 Textbook(s)	No textbook will be used in this class. The teacher will provide handouts.						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	パブリックスピーキングB/Public speaking B						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>This course will build on the skills learned in Public Speaking A but the focus will be on giving a speech in public. We will look at the organization of a formal speech and the rhetorical and oratorical skills needed for a presentation in front of an audience. The main project will be a speech for the class contest in December from which students will be selected for the Kobe Shoin annual speech contest. Students will also make a presentation on Japanese culture during the visit of the Cambodian student in December.</p> <p><u>There will be work on pronunciation and performance skills throughout the course.</u></p>						
授業計画 Syllabus	<p>This is a provisional schedule; it may change as we find we need more time to practice certain skills.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Good communication 2) Unit 8: cause and consequence; explaining 3) Unit 8: cause and consequence; explaining 4) Unit 11: patterns of organization; persuasion 5) Unit 11: patterns of organization; persuasion 6) Unit 12: using evidence; persuasion 7) Preparation for Kobe Shoin speech contest 8) Preparation for Kobe Shoin speech contest 9) Class Speech contest 10) Unit 14: using quotations 11) Preparation of presentations on Japan/Japanese culture 12) Presentations on Japan/Japanese culture with Cambodian student 13) Unit 10: For example 14) Revision of speeches 15) Final presentation 						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	Lecture						
評価方法 Evaluation	By class attendance and completion of all assignments. There will be no examination and the most important project for grading will be the final speech.						
履修上の注意 Requirements and policy	Regular attendance (more than 75%) and successful presentation of all assignments are the criteria for passing this course .						
教科書 Textbook(s)	Dynamic Presentations 著 Michael Hood (Kirihara Shoten)						
参考書 Reference(s)	Please bring a dictionary to class						

備考 Remarks	Students will be chosen from the class contest for the Kobe Shoin Speech Contest.
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	比較文化論B／Study of Comparative Culture B						
担当教員	C. L. Starling						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2～4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This lecture series will provide background keys to the understanding of social realities and personal outlooks in Japan (and East Asia generally), before focusing on everyday interaction between Japanese and people of so-called "Western" countries (America, Australia, France etc.), and the conflicts that often ensue. To some extent, this is an independent second semester course, but it should be considered as a companion course to the first semester Study of Comparative Culture A, in which Western culture is examined.
授業計画 Syllabus	<p>Week and theme:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Confucianism 2 Wabi-sabi 3 Amae 4 Communication style 5 Marriage 6 University life 7 Foreigners' surprises in Japan 8 Surprises of Japanese abroad 9 Review game 10 Ways of seeing 11 From local to global 12 Review 13 Review 14 Summary of main points and examination preparation 15 Review and examination (about 20 questions requiring short answers and three questions requiring longer answers)
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Lecture
評価方法 Evaluation	50% for written answers to questions asked verbally by the teacher in class: 50% for performance in the examination.
履修上の注意 Requirements and policy	Attendance at 70% of classes is required. Students will be penalized for disruptive behaviour, inattention in any form, or unjustified lateness.
教科書 Textbook(s)	None. Prints will be supplied.
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ビジネスの現場で秘書としてすぐに使える英語表現を、会話と文書の両面から学びます。TOEICの問題を使用しながら、ビジネスでよく使用する単語、慣用句、マナーなど、通常の英会話との違いなどもわかりやすく解説し、文書作成やビジネス会話に必要な文法も復習しながら授業を進めます。
授業計画 Syllabus	第1回 Introduction to the course and Unit 8 第2回 Unit 8 第3回 Unit 9 第4回 Unit 9 第5回 Unit 10 第6回 Unit 10 第7回 Unit 11 第8回 Unit 11 第9回 Unit 12 第10回 Unit 12 第11回 Unit 13 第12回 Unit 13 第13回 Unit 14 第14回 Unit 15 第15回 Review and term exam
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	演習（ロールプレイや文書作成など）
評価方法 Evaluation	出席、授業態度、試験により総合的に評価します。 (出席及び授業態度40%、小テスト30%、期末テスト30%)
履修上の注意 Requirements and policy	欠席4回以上の者には単位を与えません。遅刻3回で欠席1回とみなします。 授業中の私語、教科書忘れ、携帯の使用等も平常点減点対象とします。
教科書 Textbook(s)	Target on the TOEIC Test Starter Atsushi Mizumoto KINSEIDO ISBN: 9784764739000
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	ビジネスの現場で秘書としてすぐに使える英語表現を、会話と文書の両面から学びます。TOEICの問題を使用しながら、ビジネスでよく使用する単語、慣用句、マナーなど、通常の英会話との違いなどもわかりやすく解説し、文書作成やビジネス会話に必要な文法も復習しながら授業を進めます。						
授業計画 Syllabus	第1回 Introduction to the course and Unit 8 第2回 Unit 8 第3回 Unit 9 第4回 Unit 9 第5回 Unit 10 第6回 Unit 10 第7回 Unit 11 第8回 Unit 11 第9回 Unit 12 第10回 Unit 12 第11回 Unit 13 第12回 Unit 13 第13回 Unit 14 第14回 Unit 15 第15回 Review and term exam						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	演習（ロールプレイや文書作成など）						
評価方法 Evaluation	出席、授業態度、試験により総合的に評価します。 (出席及び授業態度40%、小テスト30%、期末テスト30%)						
履修上の注意 Requirements and policy	欠席4回以上の者には単位を与えません。遅刻3回で欠席1回とみなします。 授業中の私語、教科書忘れ、携帯の使用等も平常点減点対象とします。						
教科書 Textbook(s)	Target on the TOEIC Test Starter Atsushi Mizumoto KINSEIDO ISBN: 9784764739000						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、語彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す
授業計画 Syllabus	第01回 インTRODクシヨン 第02回 応用読解演習(01) テーマ: 医薬(1) 第03回 応用読解演習(02) テーマ: 医薬(2) 第04回 応用読解演習(03) テーマ: 車と駐車(1) 第05回 応用読解演習(04) テーマ: 車と駐車(2) 第06回 応用読解演習(05) テーマ: 統計データ(1) 第07回 応用読解演習(06) テーマ: 統計データ(2) 第08回 応用読解演習(07) テーマ: 警告(1) 第09回 応用読解演習(08) テーマ: 警告(2) 第10回 応用読解演習(09) テーマ: レシピ 第11回 応用読解演習(10) テーマ: 旅程表 第12回 応用読解演習(11) テーマ: 金融(1) 第13回 応用読解演習(12) テーマ: 金融(2) 第14回 応用読解演習(13) テーマ: メモランダム 第15回 応用読解演習(14) テーマ: 株式
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習方式
評価方法 Evaluation	出席点30%、毎回の小テスト50%、発表点20%
履修上の注意 Requirements and policy	授業では英英辞典を多用するので、受講生は英英辞典を用意することがのぞましい
教科書 Textbook(s)	プリントを使用する
参考書 Reference(s)	なし
備考 Remarks	なし

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、語彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す
授業計画 Syllabus	第01回 インTRODクシヨン 第02回 応用読解演習(01) テーマ: 医薬(1) 第03回 応用読解演習(02) テーマ: 医薬(2) 第04回 応用読解演習(03) テーマ: 車と駐車(1) 第05回 応用読解演習(04) テーマ: 車と駐車(2) 第06回 応用読解演習(05) テーマ: 統計データ(1) 第07回 応用読解演習(06) テーマ: 統計データ(2) 第08回 応用読解演習(07) テーマ: 警告(1) 第09回 応用読解演習(08) テーマ: 警告(2) 第10回 応用読解演習(09) テーマ: レシピ 第11回 応用読解演習(10) テーマ: 旅程表 第12回 応用読解演習(11) テーマ: 金融(1) 第13回 応用読解演習(12) テーマ: 金融(2) 第14回 応用読解演習(13) テーマ: メモランダム 第15回 応用読解演習(14) テーマ: 株式
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習方式
評価方法 Evaluation	出席点30%、毎回の小テスト50%、発表点20%
履修上の注意 Requirements and policy	授業では英英辞典を多用するので、受講生は英英辞典を用意することがのぞましい
教科書 Textbook(s)	プリントを使用する
参考書 Reference(s)	なし
備考 Remarks	なし

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	朴 熙成						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	本授業では、訪問客の受付、電話対応、会議・ミーティング業務、ビジネス文書やメールのやりとりなど秘書業務に欠かせない一連の基礎知識を習得する。その上、英語のパフォーマンスやその確認を通して、コミュニケーション能力を養っていくことを目標とする。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. Which ones should we order? 3. Are you free on Tuesday? 4. Role-playing & Review 5. Where's the marketing department? 6. Mid-term test & Review 7. How long does the process take? 8. Exports increased sharply 9. E-mail reading & writing 10. I'm leaving tomorrow 11. Would you like to try some dim sum? 12. The interview 13. Forms, envelopes and letters 14. CVs and application letters 15. Review & Final test
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	ロールプレイング、テスト、課題を課すことなどを予定している。
評価方法 Evaluation	出席20%、テスト50%、演習ならびに授業参加態度30%（合計100%）
履修上の注意 Requirements and policy	英語でロールプレイができること。課題をビジネス文書の作成を行うため、ワードやエクセルができること。辞書持参のこと。
教科書 Textbook(s)	『Get Ready for Business Book 1』 MACMILLAN ENGLISH
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>企業のトップを補佐する秘書に必要な知識(応用編) 企業の重責を担う人物を補佐する秘書に必要な知識や技能について解説する。社会の急激な変化に伴い、秘書の求められる知識や技能は広範囲なものになっている。コミュニケーション能力やホスピタリティマインド、リスクマネジメントなど、事務職につく人はもちろん、航空、旅行、マスコミ関係などさまざまな職業に行かせる実務知識や常識が身につく。 企業とはどのようなところか、働く意味、などを分かりやすく解説する。ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、応用力を養える内容とする。学生自身のライフスタイル、キャリア構築に役立つものとしたい。</p>
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは 2. 秘書とコミュニケーション I 3. 秘書とコミュニケーション II (グループディスカッション) 4. 人間関係 (グループディスカッション) 5. プロトコール 6. ホスピタリティ 7. コーポレート・ガバナンス 8. 働く目的 (グループディスカッション) 9. リスクマネジメント 10. 秘書のためのレファレンス 11. 経済・政治・地域に関する情報 12. 社会・文化に関する情報 13. 自己決定力(義務・権利・責任) (グループディスカッション) 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	筆記試験(70%)と平常点:出欠、遅刻、提出物など(30%)の総合評価。
履修上の注意 Requirements and policy	社会人への準備期間としての受講態度を望みます。
教科書 Textbook(s)	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著 (中央経済社) ISBN978-4-502-39920-6
参考書 Reference(s)	国際ビジネスのためのプロトコール、改訂版、寺西 千代子 著、有斐閣ビジネス、ISBN4-641-06913-1 全図解 日本のしくみ(政治・経済・司法編)、講談社インターナショナル(株)、ISBN4-7700-2726-5 伝説コンシェルジュが明かすプレミアム名おもてなし、前田 佳子 著、ダイヤモンド社、ISBN978-4-478-00043-4
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>企業のトップを補佐する秘書に必要な知識(応用編)</p> <p>企業の重責を担う人物を補佐する秘書に必要な知識や技能について解説する。社会の急激な変化に伴い、秘書の求められる知識や技能は広範囲なものになっている。コミュニケーション能力やホスピタリティマインド、リスクマネジメントなど、事務職につく人はもちろん、航空、旅行、マスコミ関係などさまざまな職業に行かせる実務知識や常識が身につく。</p> <p>企業とはどのようなところか、働く意味、などを分かりやすく解説する。ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、応用力を養える内容とする。学生自身のライフスタイル、キャリア構築に役立つものとしたい。</p>
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは 2. 秘書とコミュニケーション I 3. 秘書とコミュニケーション II (グループディスカッション) 4. 人間関係 (グループディスカッション) 5. プロトコール 6. ホスピタリティ 7. コーポレート・ガバナンス 8. 働く目的 (グループディスカッション) 9. リスクマネジメント 10. 秘書のためのレファレンス 11. 経済・政治・地域に関する情報 12. 社会・文化に関する情報 13. 自己決定力(義務・権利・責任) (グループディスカッション) 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	筆記試験(70%)と平常点:出欠、遅刻、提出物など(30%)の総合評価。
履修上の注意 Requirements and policy	社会人への準備期間としての受講態度を望みます。
教科書 Textbook(s)	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著 (中央経済社) ISBN978-4-502-39920-6
参考書 Reference(s)	国際ビジネスのためのプロトコール、改訂版、寺西 千代子 著、有斐閣ビジネス、ISBN4-641-06913-1 全図解 日本のしくみ(政治・経済・司法編)、講談社インターナショナル(株)、ISBN4-7700-2726-5 伝説コンシェルジュが明かすプレミアム名おもてなし、前田 佳子 著、ダイヤモンド社、 ISBN978-4-478-00043-4
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	ビジネス英語研究B／Study of Business English B						
担当教員	J. Angel						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	3～4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	To gain competent basic business skills in English. We will first discuss issues facing women in business and then study business English through practical activities and role playing.
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 3: The movers and the shakers 2. Chapter 3: Where's the party? 3. Chapter 3: It's your call 4. Chapter 4: The customer is always right 5. Chapter 4: Prepare a questionnaire 6. Chapter 4: Short presentation - Market Research 7. Chapter 5: A star is born 8. Chapter 5: You know you want it 9. Chapter 5: Lights, Camera, Action 10. Presentations: Infomercials 11. Chapter 6: You made it 12. Chapter 6: Resumes 13. Chapter 6: Interview preparation 14. Interviews 15. Interviews
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Seminar
評価方法 Evaluation	Students will be evaluated based on attendance, participation and two presentations
履修上の注意 Requirements and policy	Students may not be absent more than 4 times per semester. 5 absences will equal automatic failure. Also, presentations must be given on the date assigned. If students will be absent on the day of the presentation, they must give it the week before, not after.
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	ビジネス英語研究B／Study of Business English B						
担当教員	I. Sandhu						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	3～4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	This course should develop students' ability to speak English with greater confidence and fluency in a range of formal and informal business situations. The curriculum focuses on tasks designed to improve participants' spoken performance. Seminar, discussion, and oral presentation skills will be practiced.
授業計画 Syllabus	<p>第1回 Introduction to the course</p> <p>第2回 Negotiations</p> <p>第3回 Complaints and Problems</p> <p>第4回 Troubleshooting</p> <p>第5回 Customer Service</p> <p>第6回 Monitoring Progress and Progress Reports</p> <p>第7回 Future Prospects and Opportunities in Business</p> <p>第8回 Midterm Quiz</p> <p>第9回 Meetings and Discussions</p> <p>第10回 Corporate Responsibility</p> <p>第11回 Speaking in Public and Corporate Presentations</p> <p>第12回 Green Companies</p> <p>第13回 Online Shopping</p> <p>第14回 Internet Entrepreneurs</p> <p>第15回 Review of Course and Quiz</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	Seminar
評価方法 Evaluation	The final grade for this course will be based on your class attendance (20%) and your active participation (40%) during classes. Students should come to class prepared, and will be expected, to contribute to class discussions on a range of topics. An important component of the final grade will be a number of in class assessments (40%).
履修上の注意 Requirements and policy	As the final mark will depend on class attendance it is important that students attend all assigned lectures in the semester.
教科書 Textbook(s)	Business Venture 2 Student Book; Roger Barnard and Jeff Cady; Oxford University Press; ISBN 978-0-19-457818-9
参考書 Reference(s)	

備考 Remarks	
---------------	--

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法B						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>パワーポイントを使ったプレゼンテーションの演習。</p> <p>日本の国会では、1946年以来議場での発言をすべて記録し、国会会議録として一般に配布、ネット公開しています。新聞だと300年分にもなる膨大なこのデータは、戦後の日本語の姿をそのまま映し出している貴重な記録でもあります。これを見ていくと、政治家の口癖、流行語の変化、その時代のキャッチフレーズ、方言の移り変わりなども浮かび上がってきます。ことばのデータとして注目されたのはこの数年というほぼ未開拓のデータなため、学生でも簡単に「新発見」が可能な、エキサイティングなデータです。この授業では、これまでの研究を振り返りながら、各自の興味のとくまに国会会議録を検索し、面白いことを発見・発表しながらプロジェクトを進めることで、プレゼンテーションの技能を高めていきます。言語学や国会に関する前提知識はほとんど不要です。</p> <p>なお、後期のBでは前期で講義した基本的発表技法を踏まえてより内容面に注意を向けます。また、前期のAに引き続きこの授業を履修する学生は、前期に取り組んだテーマとは別なテーマに取り組む必要があります。</p>						
授業計画 Syllabus	第1回 イン트로・授業説明 第2回 グループ分け 第3回 発表方法についての説明 第4回 国会会議録に関する講義(松田) 第5回 質問日 第6回 第1グループの発表 第7回 第2グループの発表 第8回 第3グループの発表 第9回 第4グループの発表 第10回 質問日 第11回 第5グループの発表 第12回 第6グループの発表 第13回 第7グループの発表 第14回 第8グループの発表 第15回 まとめ						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	講義と発表						
評価方法 Evaluation	発表の出来具						
履修上の注意 Requirements and policy	私語厳禁！ 迷惑になるので、おしゃべりはしないで下さい。						
教科書 Textbook(s)							
参考書 Reference(s)	松田謙次郎（編） 『国会会議録を使った日本語研究』（ひつじ書房） ISBN: 978-4-7647-3710-5						
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法B						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>パワーポイントを使ったプレゼンテーションの演習。</p> <p>日本の国会では、1946年以来議場での発言をすべて記録し、国会会議録として一般に配布、ネット公開しています。新聞だと300年分にもなる膨大なこのデータは、戦後の日本語の姿をそのまま映し出している貴重な記録でもあります。これを見ていくと、政治家の口癖、流行語の変化、その時代のキャッチフレーズ、方言の移り変わりなども浮かび上がってきます。ことばのデータとして注目されたのはこの数年というほぼ未開拓のデータなため、学生でも簡単に「新発見」が可能な、エキサイティングなデータです。この授業では、これまでの研究を振り返りながら、各自の興味の赴くままに国会会議録を検索し、面白いことを発見・発表しながらプロジェクトを進めることで、プレゼンテーションの技能を高めていきます。言語学や国会に関する前提知識はほとんど不要です。</p> <p>なお、後期のBでは前期で講義した基本的発表技法を踏まえてより内容面に注意を向けます。また、前期のAに引き続きこの授業を履修する学生は、前期に取り組んだテーマとは別なテーマに取り組む必要があります。</p>						
授業計画 Syllabus	第1回 イン트로・授業説明 第2回 グループ分け 第3回 発表方法についての説明 第4回 国会会議録に関する講義(松田) 第5回 質問日 第6回 第1グループの発表 第7回 第2グループの発表 第8回 第3グループの発表 第9回 第4グループの発表 第10回 質問日 第11回 第5グループの発表 第12回 第6グループの発表 第13回 第7グループの発表 第14回 第8グループの発表 第15回 まとめ						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	講義と発表						
評価方法 Evaluation	発表の出来具						
履修上の注意 Requirements and policy	私語厳禁！ 迷惑になるので、おしゃべりはしないで下さい。						
教科書 Textbook(s)							
参考書 Reference(s)	松田謙次郎(編) 『国会会議録を使った日本語研究』(ひつじ書房) ISBN: 978-4-7647-3710-5						
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法B						
担当教員	松田 泰至						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>コンピュータを使った様々な表現技法を学ぶ この授業では、“プレゼンテーションの技法A”に引き続き、現在のコンピュータで可能である様々な表現技法を学ぶことを目的としています。受講生の技能レベルに応じて若干の修正があるかもしれませんが、授業は概ね以下の順序で行われる予定です。</p> <p>1. Webページの内容理解。 2. 簡易アニメーションの作成およびWebページへの組み込み また、課題作成のために以下のソフトウェアを使用する予定です。 1. Photoshop CS4 2. Flash CS4</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回：講義概要および受講時の注意 第2回：Webページの内容理解1 第3回：静止画像処理 第4回：Webページの内容理解2 第5回：Webページの内容理解3 第6回：演習1 第7回：演習2 第8回：演習3 第9回：アニメーションの原理 第10回：簡易アニメーションの作成1 第11回：簡易アニメーションの作成2 第12回：簡易アニメーションの作成3 第13回：演習4 第14回：演習5 第15回：演習6</p>
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	受講態度および提出課題に基づき総合的に評価する。出席重視。
履修上の注意 Requirements and policy	単位認定のためには複数ある必修課題の提出が必要。
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法B						
担当教員	松田 泰至						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>コンピュータを使った様々な表現技法を学ぶ この授業では、“プレゼンテーションの技法A”に引き続き、現在のコンピュータで可能である様々な表現技法を学ぶことを目的としています。受講生の技能レベルに応じて若干の修正があるかもしれませんが、授業は概ね以下の順序で行われる予定です。</p> <p>1. Webページの内容理解。 2. 簡易アニメーションの作成およびWebページへの組み込み また、課題作成のために以下のソフトウェアを使用する予定です。 1. Photoshop CS4 2. Flash CS4</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回：講義概要および受講時の注意 第2回：Webページの内容理解 1 第3回：静止画像処理 第4回：Webページの内容理解 2 第5回：Webページの内容理解 3 第6回：演習 1 第7回：演習 2 第8回：演習 3 第9回：アニメーションの原理 第10回：簡易アニメーションの作成 1 第11回：簡易アニメーションの作成 2 第12回：簡易アニメーションの作成 3 第13回：演習 4 第14回：演習 5 第15回：演習 6</p>
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	受講態度および提出課題に基づき総合的に評価する。出席重視。
履修上の注意 Requirements and policy	単位認定のためには複数ある必修課題の提出が必要。
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	翻訳研究B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	英語と日本語の表現法・発想法の違いを探る 自然な翻訳、効果的な翻訳のためには、英語と日本語の表現法や発想法の違いをよく理解し、それをしっかりと意識しておくことが重要になります。さまざまな種類の英語の翻訳練習を通して、翻訳作業に不可欠な英語と日本語の表現法・発想法の置き換えの要領を身につけてください。
授業計画 Syllabus	第1回 授業オリエンテーション：翻訳ウォーミングアップ 第2回 英語と日本語の表現法(1) 第3回 英語と日本語の表現法(2) 第4回 英語と日本語の表現法(3) 第5回 英語と日本語の表現法(4) 第6回 英語と日本語の表現法(5) 第7回 英語と日本語の表現法(6) 第8回 文化と論理と表現法 第9回 英語の発想・日本語の発想(1) 第10回 英語の発想・日本語の発想(2) 第11回 英語の発想・日本語の発想(3) 第12回 英語の発想・日本語の発想(4) 第13回 英語の発想・日本語の発想(5) 第14回 文化と心理と発想法 第15回 授業内容のまとめと期末試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義と練習問題による演習
評価方法 Evaluation	出席状況 30%、筆記試験もしくはレポート(選択制) 70% 授業回数の3分の2以上出席した人が定期試験の受験資格を得るものとします。
履修上の注意 Requirements and policy	指示された部分の翻訳や練習問題など、必ず予習した上で授業にのぞんでください。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	翻訳研究B						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>翻訳実践 英語から日本語へ、日本語から英語への翻訳の優れた実例をあげつつ、授業では様々な文章の翻訳を試みる。英語の読解力、日本語の表現力、異文化理解など、翻訳の作業によって学ぶことにもなる。</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回：翻訳とは何か、さまざまな翻訳紹介 第2回：「百人一首」の英訳鑑賞 第3回：「百人一首」の英訳実践 第4回：映画「プリティーマン」の台詞和訳理解 第5回：映画「プリティーマン」の台詞和訳実践 第6回：映画「プリティーマン」の台詞和訳実践 第7回：英米作家短編翻訳実践 第8回：英米作家短編翻訳実践 第9回：実用書翻訳実践 第10回：実用書翻訳実践 第11回：音楽歌詞翻訳実践 第12回：翻訳対象作品発表会 第13回：翻訳作品実践指導 第14回：翻訳合評会 第15回：翻訳合評会</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義と実践練習
評価方法 Evaluation	授業中の提出物、レポート。
履修上の注意 Requirements and policy	翻訳研究Aを受講していることが好ましいが、当該科目（翻訳研究B）のみを受講することも可。出席重視。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	翻訳研究B						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>翻訳実践 英語から日本語へ、日本語から英語への翻訳の優れた実例をあげつつ、授業では様々な文章の翻訳を試みる。英語の読解力、日本語の表現力、異文化理解など、翻訳の作業によって学ぶことにもなる。</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回：翻訳とは何か、さまざまな翻訳紹介 第2回：「百人一首」の英訳鑑賞 第3回：「百人一首」の英訳実践 第4回：映画「プリティーマン」の台詞和訳理解 第5回：映画「プリティーマン」の台詞和訳実践 第6回：映画「プリティーマン」の台詞和訳実践 第7回：英米作家短編翻訳実践 第8回：英米作家短編翻訳実践 第9回：実用書翻訳実践 第10回：実用書翻訳実践 第11回：音楽歌詞翻訳実践 第12回：翻訳対象作品発表会 第13回：翻訳作品実践指導 第14回：翻訳合評会 第15回：翻訳合評会</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義と実践練習
評価方法 Evaluation	授業中の提出物、レポート。
履修上の注意 Requirements and policy	翻訳研究Aを受講していることが好ましいが、当該科目（翻訳研究B）のみを受講することも可。出席重視。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>テレビ・ドラマの英語</p> <p>英国で実際に放送されたテレビ・ドラマを見て、ナチュラル・スピードの英語の聴解力を伸ばし、英語圏の文化についての理解を深めます。</p> <p>アメリカ英語が教材となることが多いですが、今回はイギリス英語とイギリス文化に焦点を当てます。字幕なしで映画やテレビドラマを楽しみたい、字幕翻訳者になりたい人にも適した授業です。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>第1回：オリエンテーション、イギリス英語の特色とイギリス文化</p> <p>第2回：エピソード1、パート1-1</p> <p>第3回：エピソード1、パート1-2</p> <p>第4回：エピソード1、パート2-1</p> <p>第5回：エピソード1、パート2-2</p> <p>第6回：エピソード2、パート1-1</p> <p>第7回：エピソード2、パート1-2</p> <p>第8回：エピソード2、パート2-1</p> <p>第9回：エピソード2、パート2-2</p> <p>第10回：エピソード3、パート1-1</p> <p>第11回：エピソード3、パート1-2</p> <p>第12回：エピソード3、パート2-1</p> <p>第13回：エピソード3、パート2-2</p> <p>第14回：まとめと復習</p> <p>第15回：テスト</p>						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	講義と演習						
評価方法 Evaluation	平常点と試験						
履修上の注意 Requirements and policy	<p>途中入室厳禁します。</p> <p>携帯電話は電源を切るなど、受講のマナーに気をつけること。</p> <p>平常点重視です。出席のみならず、受講マナー、受講態度を重要視します。</p>						
教科書 Textbook(s)	『英国コメディで楽しむ総合英語』杉本豊久 著 金星堂						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	英語英米文学科専門教育科目						
科目名	論理トレーニングB						
担当教員	松井 理直						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2~4	単位数	2.0

授業の目的、概要 Objectives and content	就職試験の問題を実際に解いてみる3年生の後半にもなると、就職活動も本格化してきます。就職活動において必要な試験勉強はなるべく早くから始めておいて損はありません。就職試験においては、推理問題を中心とした思考能力や、論理的に自分の意見を述べ、他人とディスカッションする能力が問われます。本授業では、過去に出題された就職試験問題を実際に解いていながら、論理的な推理能力や論理的な文章を書く能力を身につけることを目標とします。また、時間が許せば、英語の教材を用いて同じように論理的な文章の読み書きの訓練をおこないます。なお、論理学の基本的な知識が要求されますので、可能な限り、論理トレーニングAの授業を受講するようにしてください。
授業計画 Syllabus	第1回 (9/29) : 授業内容の紹介と導入 第2回 (10/6) : 論証とはどのようなものか 第3回 (10/13) : 合流論証と結合論証の違いに注意! 第4回 (10/20) : 論理学を使いこなそう 第5回 (10/27) : 連言と選言について 第6回 (11/10) : 選言と自然言語 第7回 (11/17) : 含意と同値 第8回 (11/24) : トートロジーについて 第9回 (12/1) : 真理とは何か 第10回 (12/8) : 就職試験の推理問題にチャレンジ 第11回 (12/15) : さらに難しい問題にチャレンジ 第12回 (12/22) : 反論の方法: 批判と異論 第13回 (1/12) : ディベートの注意点 第14回 (1/19) : 論理トレーニングのまとめ 第15回 (1/26) : テスト 第16回 (2/2) : 予備日
参照URL Referance URL (s)	授業中に伝達します。
授業方法 Class type	講義と演習の両形式
評価方法 Evaluation	出席回数、時間中の小テスト、および各学期末の試験
履修上の注意 Requirements and policy	遅刻および授業中の私語にはペナルティを課します。3回のペナルティで単位取得の権利を失います。
教科書 Textbook (s)	プリントを配布します。
参考書 Reference (s)	新版 論理トレーニング (野矢茂樹 著 産業図書)
備考 Remarks	